
令和 6 年度
大学生意識調査

報 告 書

令和 6 年 11 月

習 志 野 市

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
第 2 章 大学生意識調査結果	2
1. 基本属性・居住地等について	2
2. 大学卒業後の進路について	3
3. 習志野市について	6
4. ボランティア活動について	14
5. 結婚・子育てについて	15
6. その他	22
第 3 章 調査結果の分析(クロス集計)	23
第 4 章 調査票	33

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

令和 8 年度を始期とする次期基本構想・基本計画の策定にあたり、過去及び現在の状況分析のために実施する調査であり、若者が置かれている状況や市に対し何を望んでいるのかを把握するために実施したもの。

2. 調査の内容

(1) 調査方法

調査期間: 令和 6 年 9 月 17 日頃から令和 6 年 10 月 15 日まで

調査対象: 千葉工業大学、東邦大学、日本大学生産工学部在学の大学生・大学院生

調査方法: アンケート用紙の直接配布、直接回収(インターネット回収併用)

(2) 回答回収率

調査票配布数	回収数	回収率
1,500(各大学 500)	1,441	96.1%

(3) 留意事項

回答の比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、百分比の合計が 100.0%にならない場合があります。

回答個数を超えて回答した場合、その他として集計しています。

本文、集計表、グラフでは回答選択肢を短縮・簡略化して標記している場合があります。

第2章 大学生意識調査結果

1. 基本属性・居住地等について

問1 性別

回答者の性別は、「男性」が69.3%、「女性」が29.8%となっています。

設問項目	回答数	構成比
1. 男性	999	69.3%
2. 女性	430	29.8%
3. 上記以外	7	0.5%
未回答	5	0.3%
計	1,441	100.0%

問2 学年

回答者の学年は、「2年生」が34.8%と最も多く、次いで「4年生」が25.5%となっています。

設問項目	回答数	構成比
1. 1年生	250	17.3%
2. 2年生	501	34.8%
3. 3年生	254	17.6%
4. 4年生	367	25.5%
5. 大学院生	65	4.5%
6. その他	0	0.0%
未回答	4	0.3%
計	1,441	100.0%

問3 お住まいの地域

回答者のお住まいの地域は、「習志野市外の千葉県内」が40.1%と最も多く、次いで「習志野市内」が27.3%となっています。

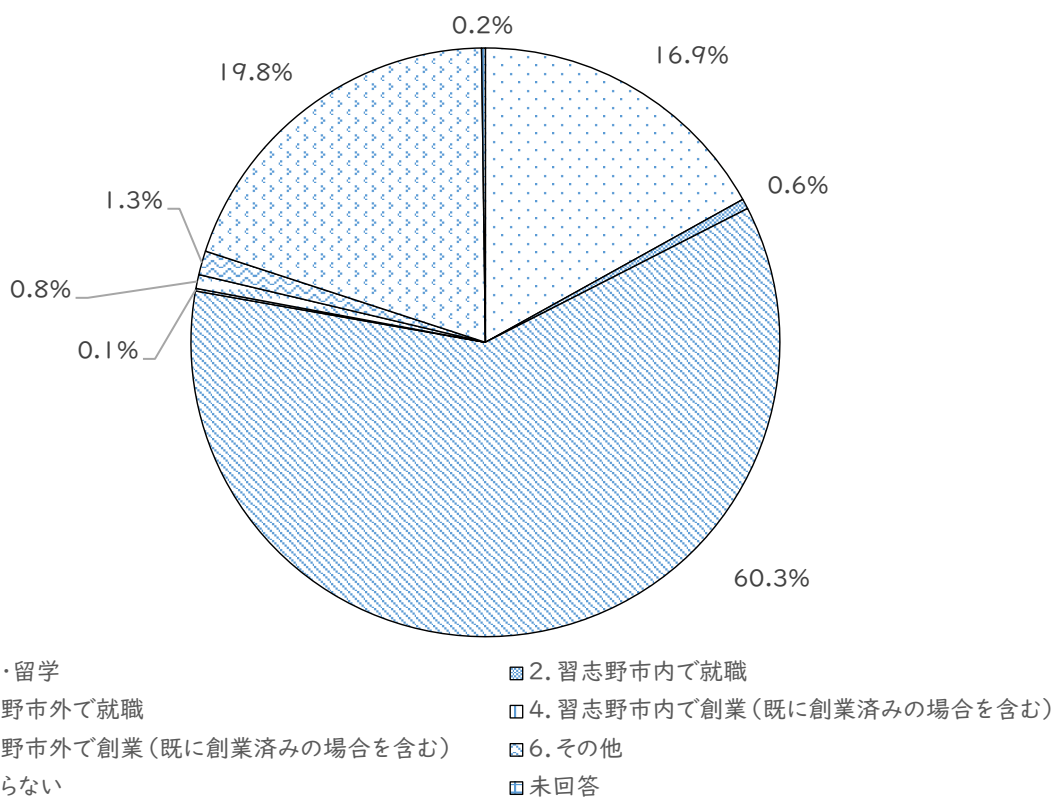
設問項目	回答数	構成比
1. 習志野市内	394	27.3%
2. 習志野市外の千葉県内	578	40.1%
3. 東京都	212	14.7%
4. 千葉県・東京都以外	247	17.1%
未回答	10	0.7%
計	1,441	100.0%

2. 大学卒業後の進路について

問 4 大学卒業後の進路予定・希望

回答者の大学(院)卒業後の進路予定・希望は、「習志野市外で就職」が60.3%と最も多く、次いで「進学・留学」が16.9%となっています。「習志野市内で就職」「習志野市内で創業」はあわせて0.7%でした。

設問項目	回答数	構成比
1. 進学・留学	244	16.9%
2. 習志野市内で就職	8	0.6%
3. 習志野市外で就職	869	60.3%
4. 習志野市内で創業(既に創業済みの場合を含む)	2	0.1%
5. 習志野市外で創業(既に創業済みの場合を含む)	11	0.8%
6. その他	19	1.3%
7. わからない	285	19.8%
未回答	3	0.2%
計	1,441	100.0%



【その他の記述内容】

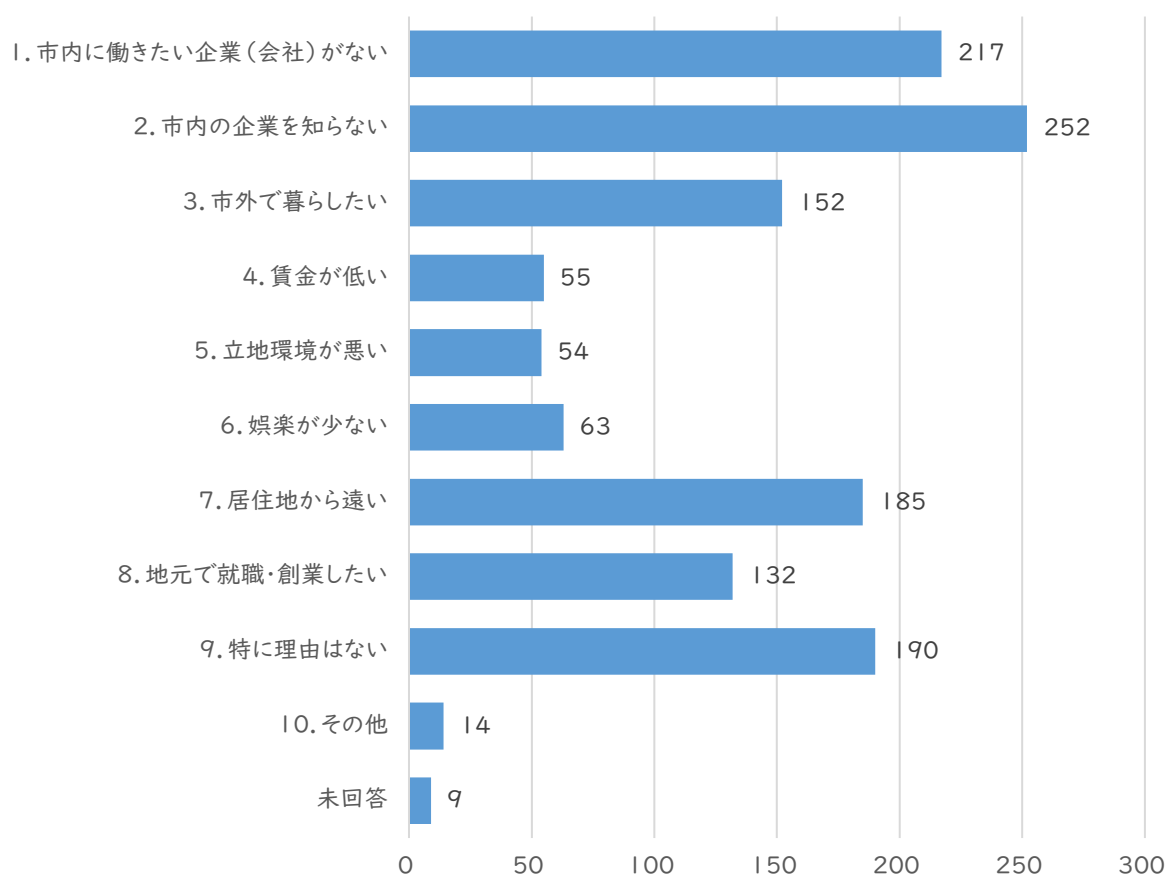
- ・海外で働きたい
- ・専業主婦

問 4-1 「習志野市外で就職」、「習志野市外で創業」を選んだ理由

習志野市外で就職若しくは創業を予定・希望する人のうち、28.6%の人が「市内の企業を知らない」、24.7%の人が「市内に働きたい企業（会社）がない」と回答でした。

設問項目	回答数	設問項目	回答数
1. 市内に働きたい企業（会社）がない	217	7. 居住地から遠い	185
2. 市内の企業を知らない	252	8. 地元で就職・創業したい	132
3. 市外で暮らしたい	152	9. 特に理由はない	190
4. 賃金が低い	55	10. その他	14
5. 立地環境が悪い	54	未回答	9
6. 娯楽が少ない	63		

(n=880)



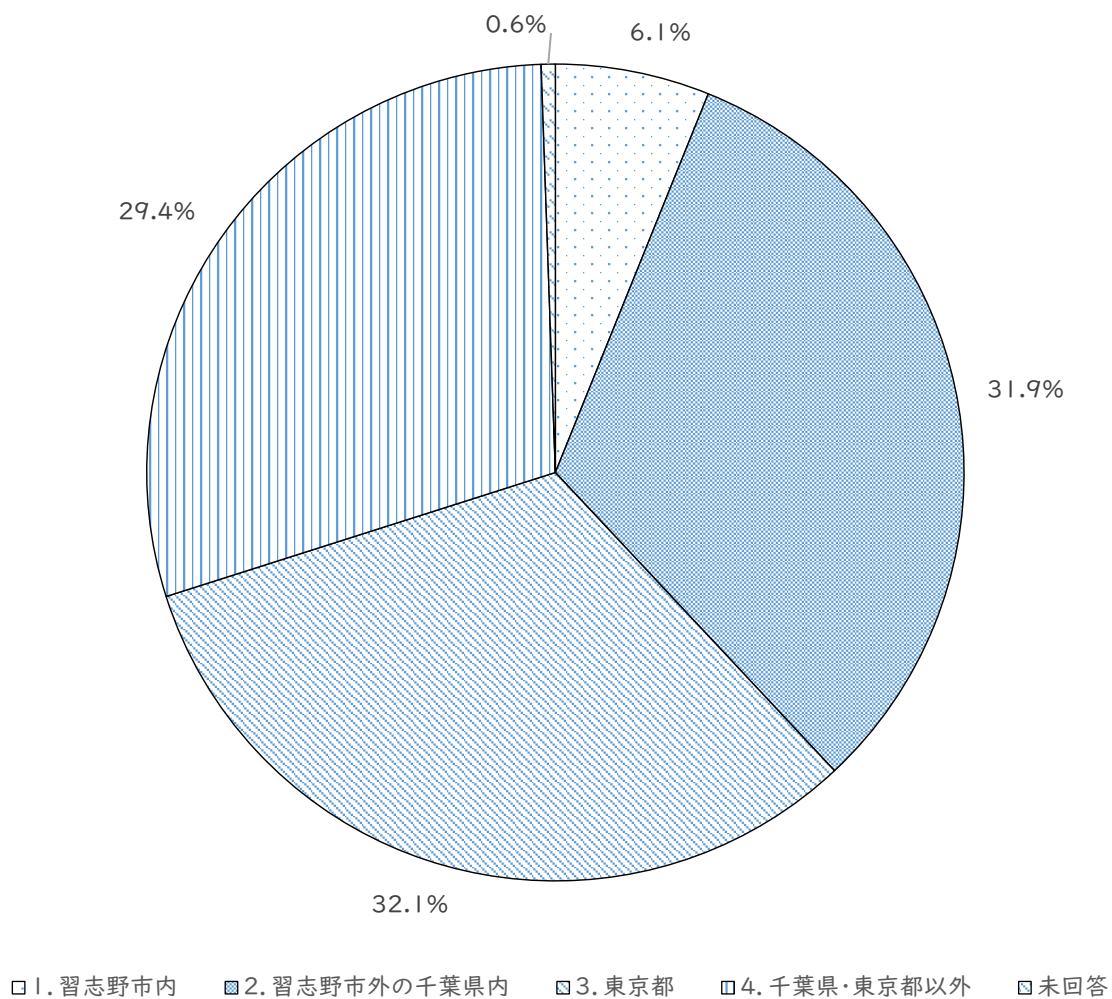
【その他の記述内容】

- ・内定した就職先が市外である。
- ・働きたい企業が市外である。
- ・現在、住んでいる地域で就職したい。
- ・交通の便が悪い。
- ・治安が悪い。

問 5 卒業後の住まいの地域予定・希望

回答者の卒業後の住まいの地域予定・希望は、「東京都」が 32.1%と最も多く、次いで「習志野市外の千葉県内」が 31.9%となっています。「習志野市内」は最も少なく 6.1%でした。

設問項目	回答数	構成比
1. 習志野市内	88	6.1%
2. 習志野市外の千葉県内	460	31.9%
3. 東京都	462	32.1%
4. 千葉県・東京都以外	423	29.4%
未回答	8	0.6%
計	1,441	100.0%

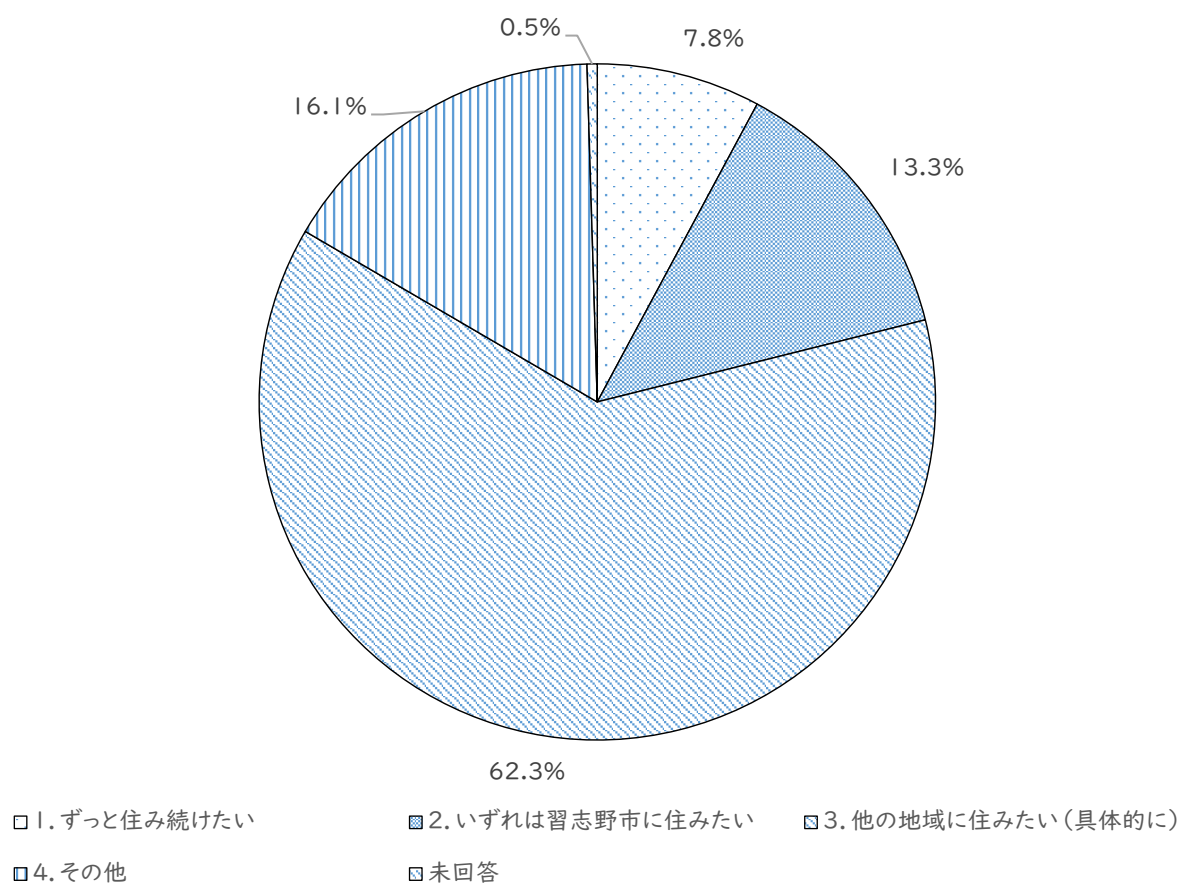


3. 習志野市について

問 6 習志野市に住みたいと思うか

習志野市に住みたいと思うかは、「ずっと住みたい」「いずれは習志野市に住みたい」あわせて21.1%、「ほかの地域に住みたい」は62.3%でした。

設問項目	回答数	構成比
1. ずっと住みたい	113	7.8%
2. いずれは習志野市に住みたい	191	13.3%
3. 他の地域に住みたい(具体的に)	898	62.3%
4. その他	232	16.1%
未回答	7	0.5%
計	1,441	100.0%



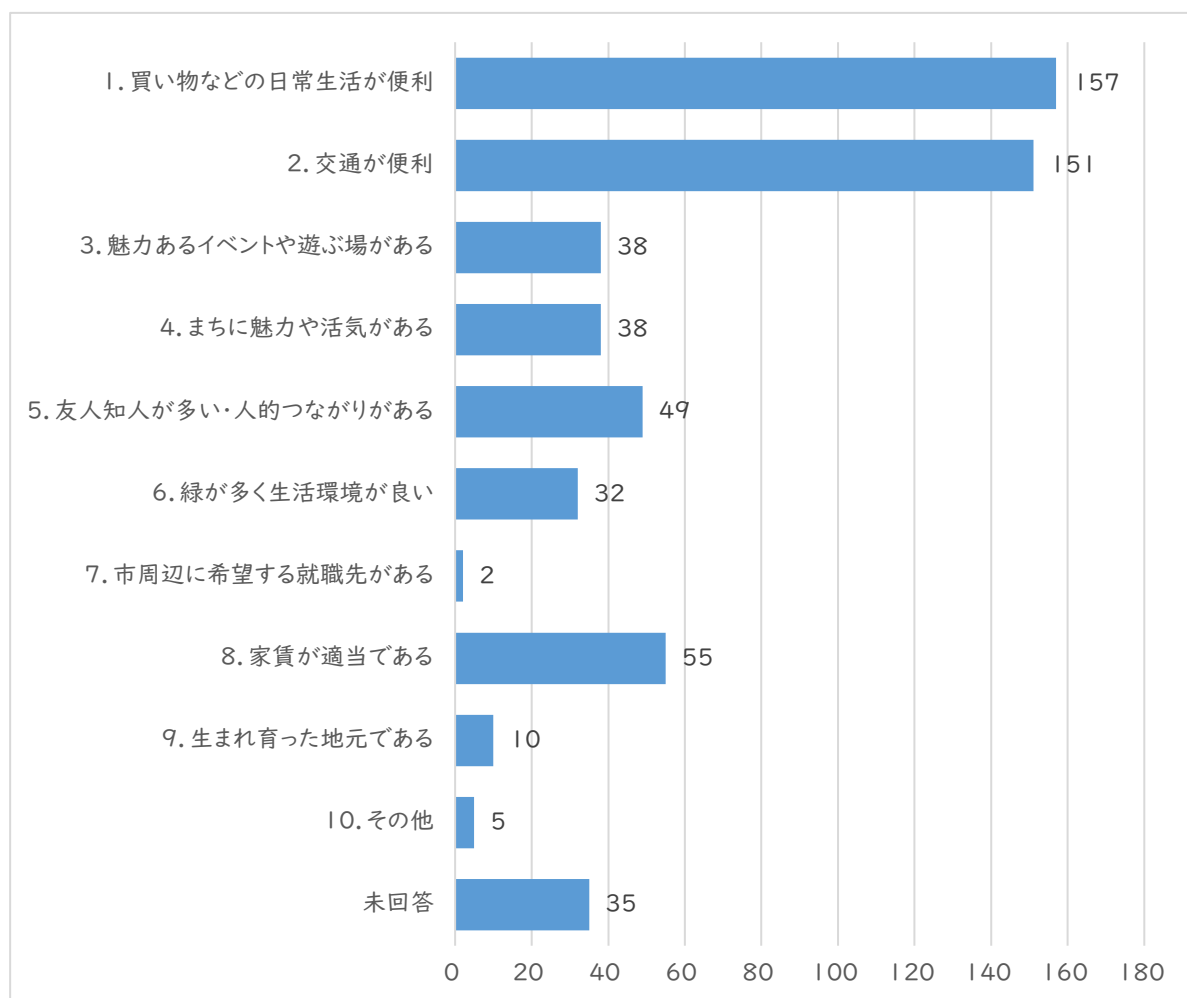
【その他の記述内容】

- ・就職先付近。
- ・まだ、決めていない。
- ・こだわりのない。

問 6-1 「ずっと住みたい」「いずれは習志野市に住みたい」を選んだ理由

習志野市に「ずっと住みたい」「いずれは住みたい」と回答した人のうち、51.6%の人が「買い物などの日常生活が便利」、49.7%の人が「交通が便利」と回答でした。

設問項目	回答数	設問項目	回答数
1. 買い物などの日常生活が便利	157	7. 市周辺に希望する就職先がある	2
2. 交通が便利	151	8. 家賃が適当である	55
3. 魅力あるイベントや遊ぶ場がある	38	9. 生まれ育った地元である	10
4. まちに魅力や活気がある	38	10. その他	5
5. 友人知人が多い・人的つながりがある	49	未回答	35
6. 緑が多く生活環境が良い	32	(n=304)	



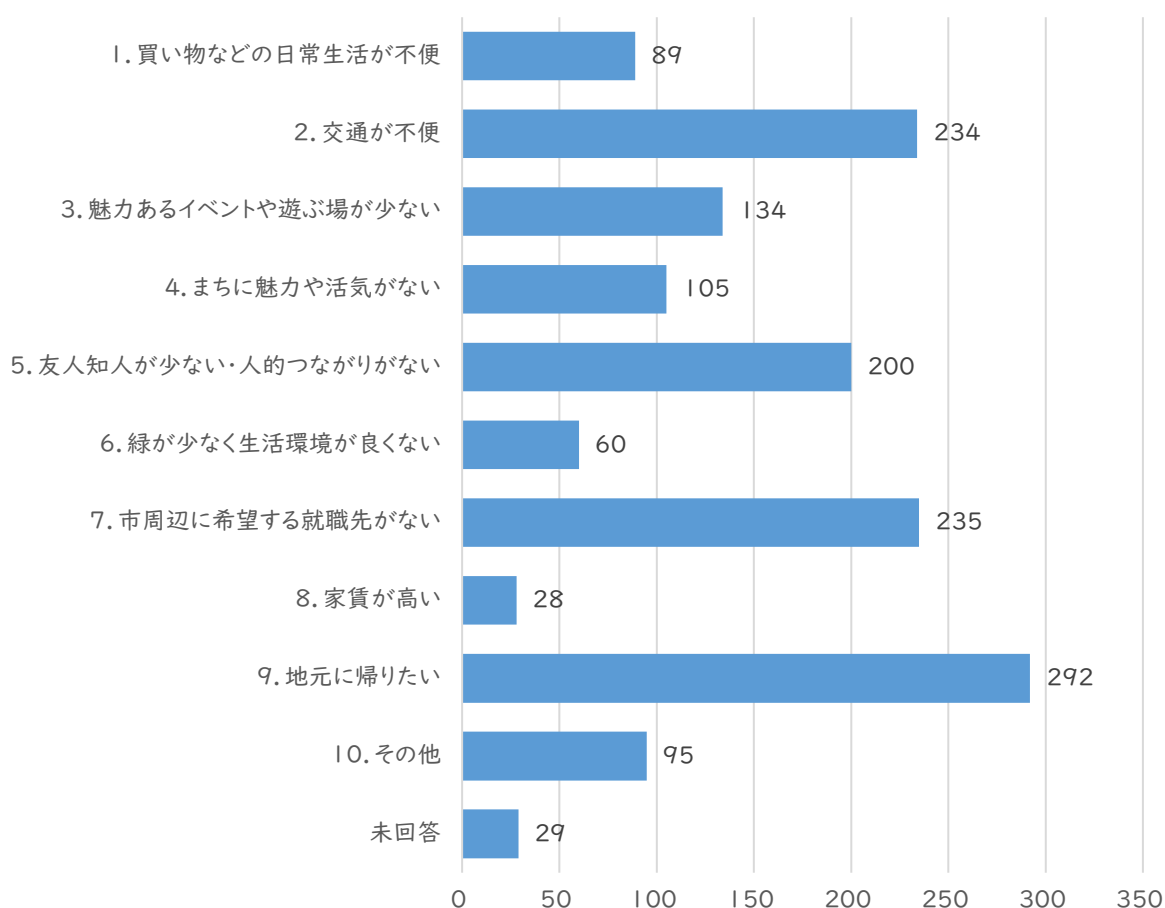
【その他の記述内容】

- ・住み慣れている。
- ・地域とつながりがある。
- ・住宅街が静か。

問 6-2 「他の地域に住みたい」を選んだ理由

「他の地域に住みたい」と回答した人のうち、32.5%の人が「地元に戻りたい」、26.2%の人が「市周辺に希望する就職先がない」、26.2%の人が「交通が不便」と回答でした。

回答	回答数	回答	回答数
1. 買い物などの日常生活が不便	89	7. 市周辺に希望する就職先がない	235
2. 交通が不便	234	8. 家賃が高い	28
3. 魅力あるイベントや遊ぶ場が少ない	134	9. 地元に戻りたい	292
4. まちに魅力や活気がない	105	10. その他	95
5. 友人知人が少ない・人的つながりがない	200	未回答	29
6. 緑が少なく生活環境が良くない	60	(n=898)	



【その他の記述内容】

- ・就職先の近くに住みたい。
- ・新しい場所に住みたい。
- ・現在住んでいる場所に住み続けたい。
- ・習志野市のことをよく知らない。

問 7 住みたいと思う理想的な街（地域）のイメージ

住みたいと思う街のイメージは、「とても重視する」「やや重視する」を最も選択されたのは「居住環境がよい」で 96.5%、次いで「交通の便がよい」で 95.1%でした。一方で、「まったく重視しない」「あまり重視しない」を最も選択されたのは「スポーツが盛んである」で 30.0%、次いで「文化・芸術活動が盛んである」で 26.6%でした。

	とても重視する	やや重視する	どちらでもない	あまり重視しない	全く重視しない	未回答
自然が豊か	268	667	310	143	36	17
交通の便がよい	1038	333	52	8	5	5
居住環境がよい	1035	355	37	6	2	6
大型商業施設が充実している	538	583	206	94	12	8
商店街が活気に満ちている	303	444	420	197	71	6
娯楽・レジャーが充実している	447	501	295	157	32	9
子育て環境が充実している	491	506	272	106	59	7
教育環境が充実している	498	545	266	79	44	9
防災・防犯対策が充実している	732	498	153	36	10	12
福祉・医療サービスが充実している	681	541	159	40	12	8
公共施設が充実している	564	552	242	56	18	9
スポーツが盛んである	266	316	418	257	176	8
文化・芸術活動が盛んである	240	367	446	247	137	4

【その他の記述内容】

- ・頼れる人が近くにいる。
- ・発展・再開発が進んでいる場所の方がよい。
- ・教育分野の交流事業に力を入れている。

問 8 習志野市に対するイメージ

習志野市のイメージは、「そう思う」「どちらかというと思う」を最も選択されたのは「交通の便がよい」で 54.6%、次いで「居住環境がよい」で 53.9%でした。一方で、「そう思わない」「どちらかというと思わない」を最も選択されたのは「娯楽・レジャーが充実している」で 34.3%、次いで「大型商業施設が充実している」で 28.0%でした。また、「そう思わない」「どちらかというと思わない」が「そう思う」「どちらかというと思う」を上回ったのは、「娯楽・レジャーが充実している」でした。

	とても重視する	やや重視する	どちらでもない	あまり重視しない	全く重視しない	未回答
自然が豊か	193	513	458	209	64	4
交通の便がよい	291	496	318	239	89	8
居住環境がよい	188	588	491	126	38	10
大型商業施設が充実している	186	415	430	308	96	6
商店街が活気に満ちている	156	445	481	273	82	4
娯楽・レジャーが充実している	95	320	524	374	120	8
子育て環境が充実している	112	362	784	122	48	13
教育環境が充実している	183	556	570	91	34	7
防災・防犯対策が充実している	119	444	714	113	43	8
福祉・医療サービスが充実している	141	480	687	94	31	8
公共施設が充実している	153	491	636	116	37	8
スポーツが盛んである	141	341	680	187	81	11
文化・芸術活動が盛んである	102	311	725	209	83	11

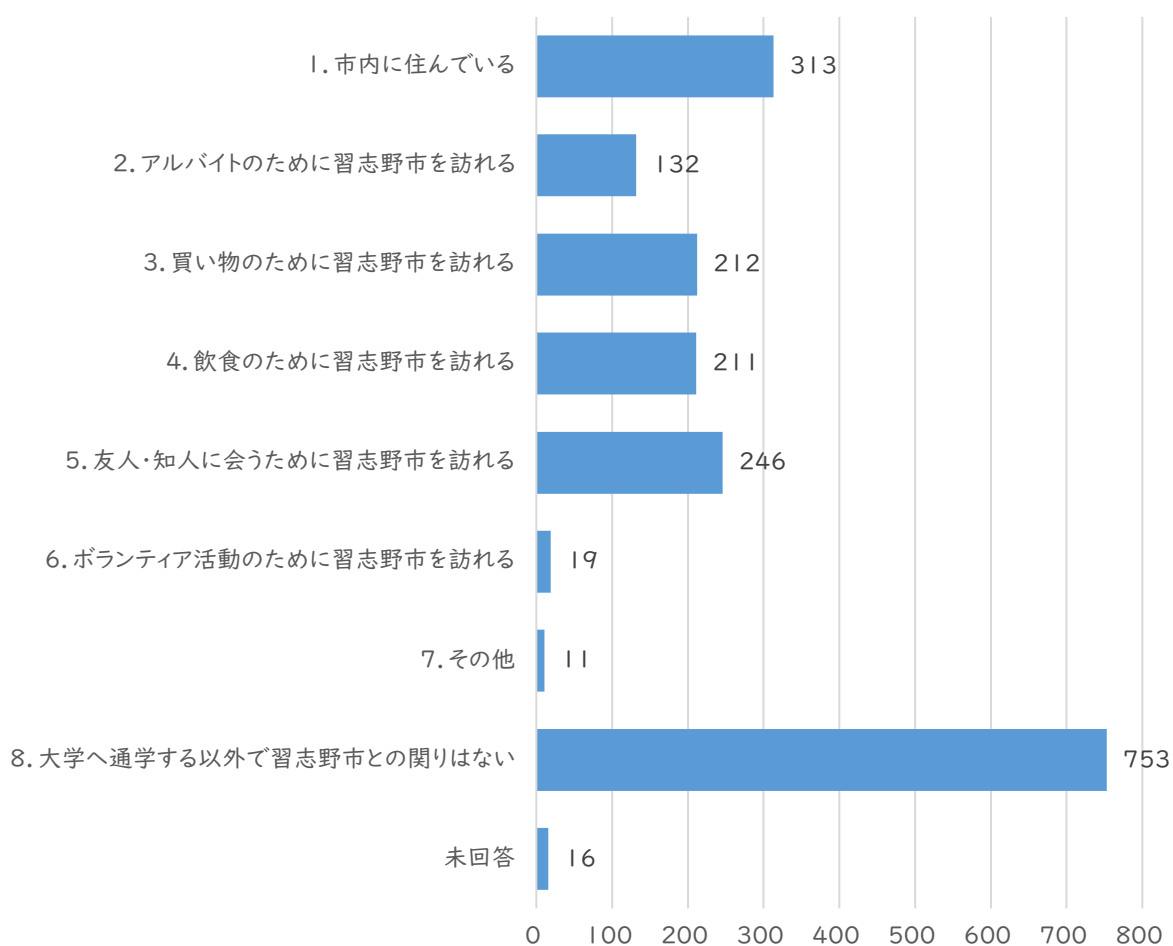
【その他の記述内容】

- ・習志野市のことをよく知らない。
- ・特徴がありません。
- ・近年津田沼周辺では再開発が進み、街並みが大きく変わってきている印象がある。

問 9 大学へ通学する以外で習志野市との関り

大学へ通学する以外の習志野市との関りは、「大学へ通学する以外で習志野市との関りはない」が52.3%と最も多く、次いで「市内に住んでいる」で21.7%の人が回答しました。

回答	回答数	回答	回答数
1. 市内に住んでいる	313	6. ボランティア活動のために習志野市を訪れる	19
2. アルバイトのために習志野市を訪れる	132	7. その他	11
3. 買い物のために習志野市を訪れる	212	8. 大学へ通学する以外で習志野市との関りはない	753
4. 飲食のために習志野市を訪れる	211	未回答	16
5. 友人・知人に会うために習志野市を訪れる	246		



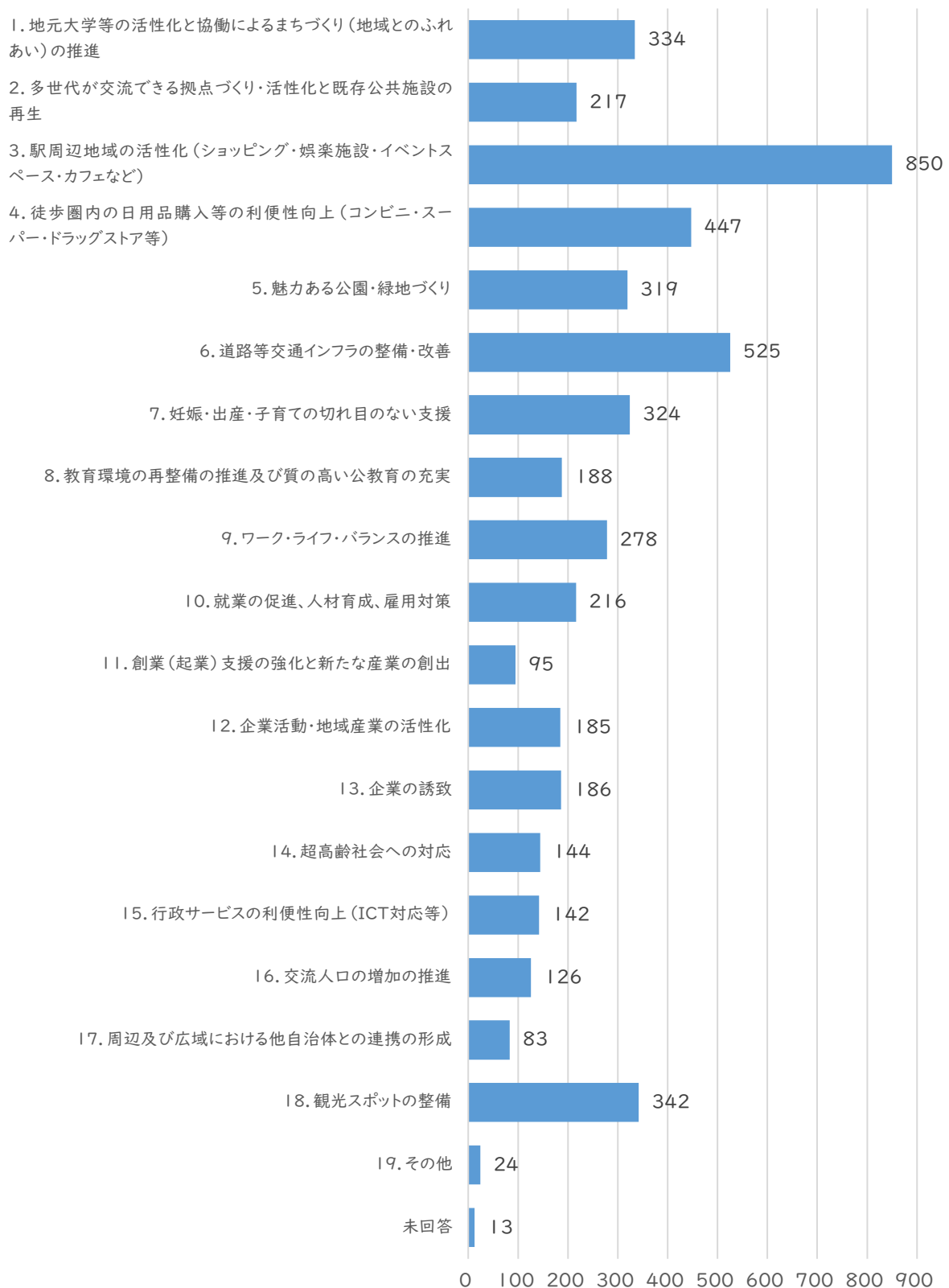
【その他の記述内容】

- ・親族が住んでいる。
- ・市内施設の使用。

問 10 習志野市に活気を生み出し、若い世代の移住・定住を促進する取り組み

活気を生み出し、若い世代の移住・定住を促進する取り組みは、「駅周辺地域の活性化（ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど）」が 59.0%と最も多く、次いで「道路等交通インフラの整備・改善」が 36.4%の人が回答しました。

回答	回答数	回答	回答数
1. 地元大学等の活性化と協働によるまちづくり(地域とのふれあい)の推進	334	11. 創業(起業)支援の強化と新たな産業の創出	95
2. 多世代が交流できる拠点づくり・活性化と既存公共施設の再生	217	12. 企業活動・地域産業の活性化	185
3. 駅周辺地域の活性化(ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど)	850	13. 企業の誘致	186
4. 徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上(コンビニ・スーパー・ドラッグストア等)	447	14. 超高齢社会への対応	144
5. 魅力ある公園・緑地づくり	319	15. 行政サービスの利便性向上(ICT 対応等)	142
6. 道路等交通インフラの整備・改善	525	16. 交流人口の増加の推進	126
7. 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	324	17. 周辺及び広域における他自治体との連携の形成	83
8. 教育環境の再整備の推進及び質の高い公教育の充実	188	18. 観光スポットの整備	342
9. ワーク・ライフ・バランスの推進	278	19. その他	24
10. 就業の促進、人材育成、雇用対策	216	未回答	13



【その他の記述内容】

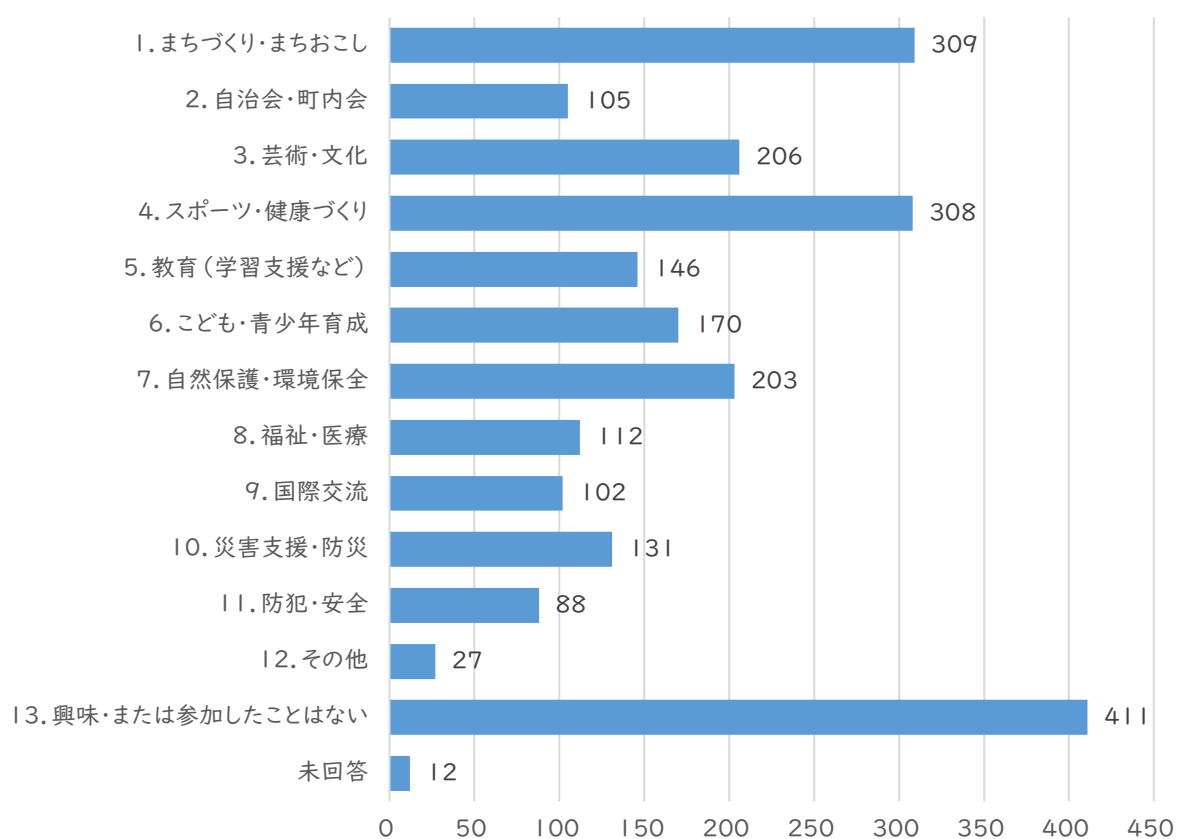
- ・学生・新卒者への経済的支援。
- ・土地の有効活用。
- ・近隣観光スポットとの連携。

4. ボランティア活動について

問 11 ボランティア活動への興味

ボランティア活動への興味は、「まちづくり・まちおこし」が21.4%と最も多く、次いで「スポーツ・健康づくり」が21.4%の人が回答しました。一方で、28.5%の人が「興味・または参加したことはない」と回答しました。

回答	回答数	回答	回答数
1. まちづくり・まちおこし	309	8. 福祉・医療	112
2. 自治会・町内会	105	9. 国際交流	102
3. 芸術・文化	206	10. 災害支援・防災	131
4. スポーツ・健康づくり	308	11. 防犯・安全	88
5. 教育（学習支援など）	146	12. その他	27
6. こども・青少年育成	170	13. 興味・または参加したことはない	411
7. 自然保護・環境保全	203	未回答	12



【その他の記述内容】

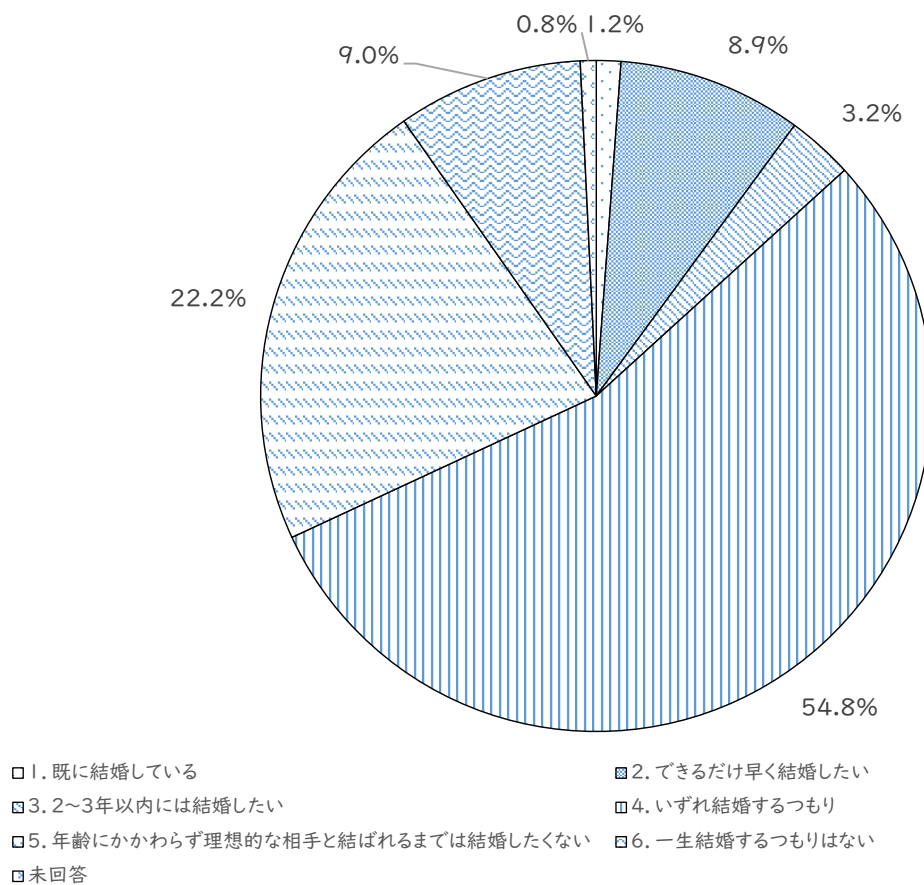
- ・野良猫の保護。
- ・清掃活動。

5. 結婚・子育てについて

問 12 結婚に関する考え方

結婚に関する考え方は、「いずれ結婚するつもり」が 54.8%と最も多く、次いで「年齢にかかわらず理想的な相手と結ばれるまでは結婚したくない」が 22.2%でした。一方で、9.0%の人が「一生結婚するつもりはない」と回答しました。

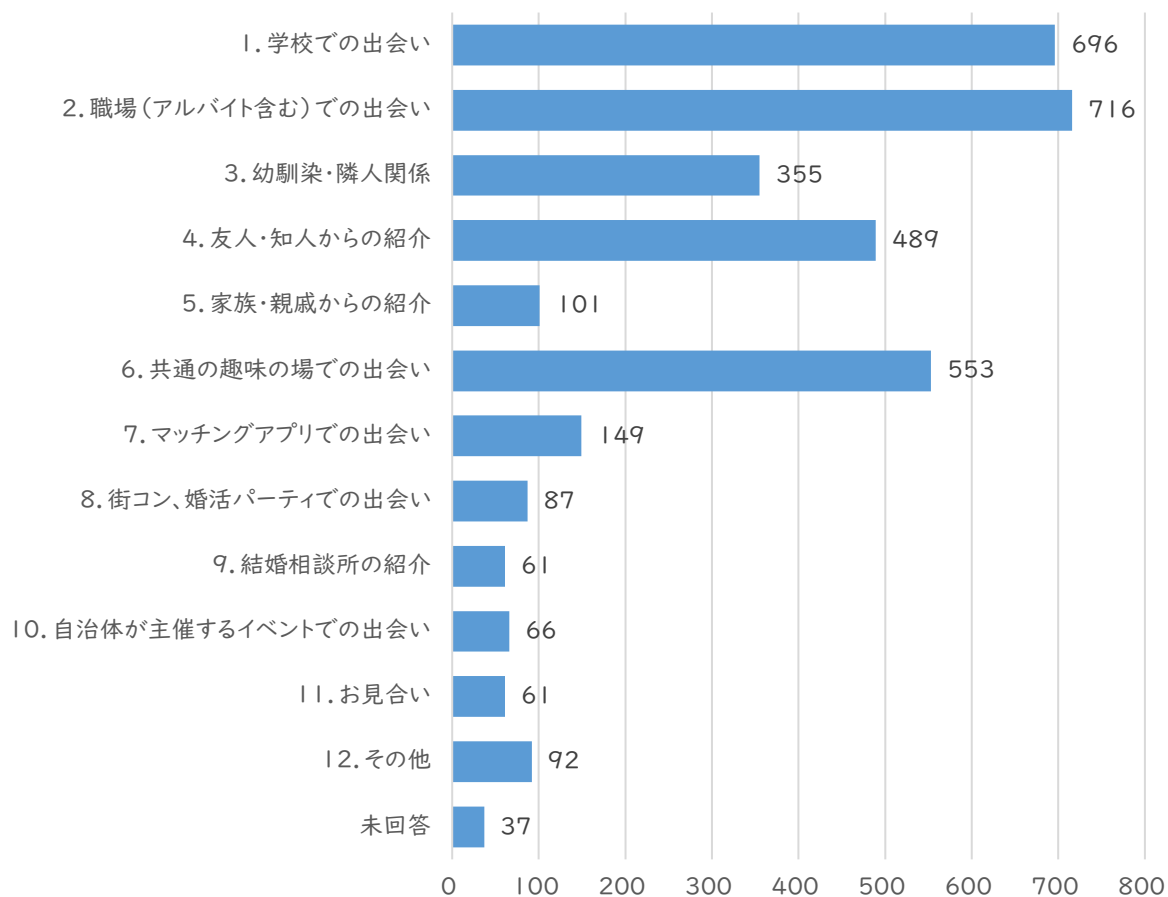
回答	回答数	構成比
1. 既に結婚している	17	1.2%
2. できるだけ早く結婚したい	128	8.9%
3. 2～3年以内には結婚したい	46	3.2%
4. いずれ結婚するつもり	790	54.8%
5. 年齢にかかわらず理想的な相手と結ばれるまでは結婚したくない	320	22.2%
6. 一生結婚するつもりはない	129	9.0%
未回答	11	0.8%
計	1,441	100.0%



問 13 結婚相手との出会い方について

結婚相手との出会い方の希望は、「職場（アルバイト含む）での出会い」が49.7%と最も多く、次いで「学校での出会い」が48.3%の人が回答しました。

回答	回答数	回答	回答数
1. 学校での出会い	696	8. 街コン、婚活パーティでの出会い	87
2. 職場（アルバイト含む）での出会い	716	9. 結婚相談所の紹介	61
3. 幼馴染・隣人関係	355	10. 自治体が主催するイベントでの出会い	66
4. 友人・知人からの紹介	489	11. お見合い	61
5. 家族・親戚からの紹介	101	12. その他	92
6. 共通の趣味の場での出会い	553	未回答	37
7. マッチングアプリでの出会い	149		



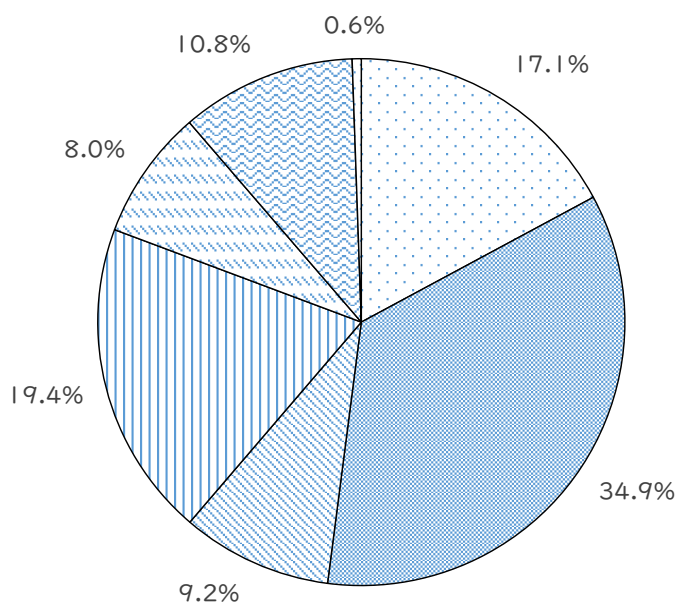
【その他の記述内容】

・なんでもいい。

問 14 未婚化の進展の理由

未婚化の進展の理由は、「経済的な理由による将来への不安」が 34.9%と最も多く、次いで「価値観の多様化」が 19.4%でした。

設問項目	回答数	構成比
1. 出会いの機会の減少	247	17.1%
2. 経済的な理由による将来への不安	503	34.9%
3. 仕事と家庭の両立の困難さ	133	9.2%
4. 価値観の多様化	280	19.4%
5. 育児の負担感、不安	115	8.0%
6. その他	155	10.8%
未回答	8	0.6%
計	1,441	100.0%



- ☐ 1. 出会いの機会の減少
- ☒ 2. 経済的な理由による将来への不安
- ☒ 3. 仕事と家庭の両立の困難さ
- ☒ 4. 価値観の多様化
- ☒ 5. 育児の負担感、不安
- ☒ 6. その他
- ☐ 未回答

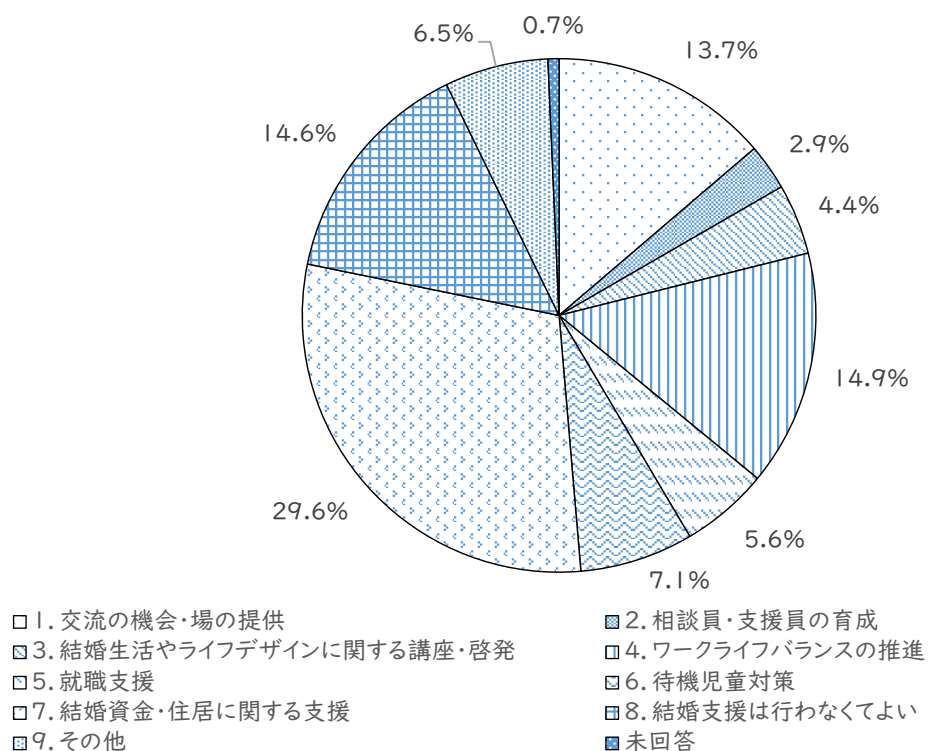
【その他の記述内容】

- ・娯楽の多様化。
- ・SNS の普及。
- ・独身でもよい、独身の方が楽という考え方の増加。
- ・魅力的な異性の減少。

問 15 市に期待する結婚支援の取組

市に期待する結婚支援の取組は、「結婚資金・住居に関する支援」が29.6%と最も多く、次いで「ワークライフバランスの推進」が14.9%でした。一方で「結婚支援は行わなくてよい」が14.6%でした。

回答	回答数	構成比
1. 交流の機会・場の提供	198	13.7%
2. 相談員・支援員の育成	42	2.9%
3. 結婚生活やライフデザインに関する講座・啓発	64	4.4%
4. ワークライフバランスの推進	214	14.9%
5. 就職支援	80	5.6%
6. 待機児童対策	103	7.1%
7. 結婚資金・住居に関する支援	426	29.6%
8. 結婚支援は行わなくてよい	210	14.6%
9. その他	94	6.5%
未回答	10	0.7%
計	1,441	100.0%



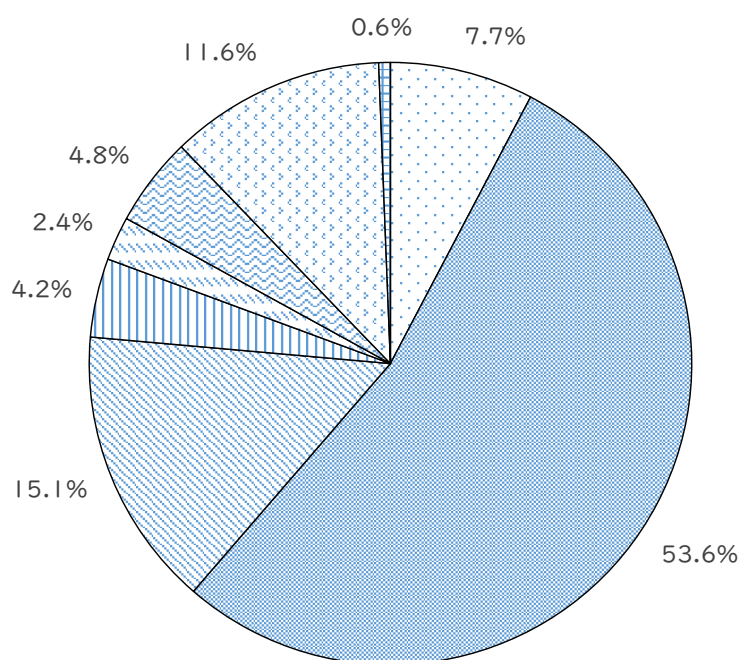
【その他の記述内容】

- ・経済的支援、賃金上昇。
- ・わからない。

問 16 理想の子どもの数

理想の子どもの人数は、「2人」が53.6%と最も多く、次いで「3人」が15.1%でした。一方で、「0人」が4.8%でした。

回答	回答数	構成比
1.1人	111	7.7%
2.2人	773	53.6%
3.3人	217	15.1%
4.4人	61	4.2%
5.5人以上	34	2.4%
6.0人	69	4.8%
7.わからない	167	11.6%
未回答	9	0.6%
計	1,441	100.0%

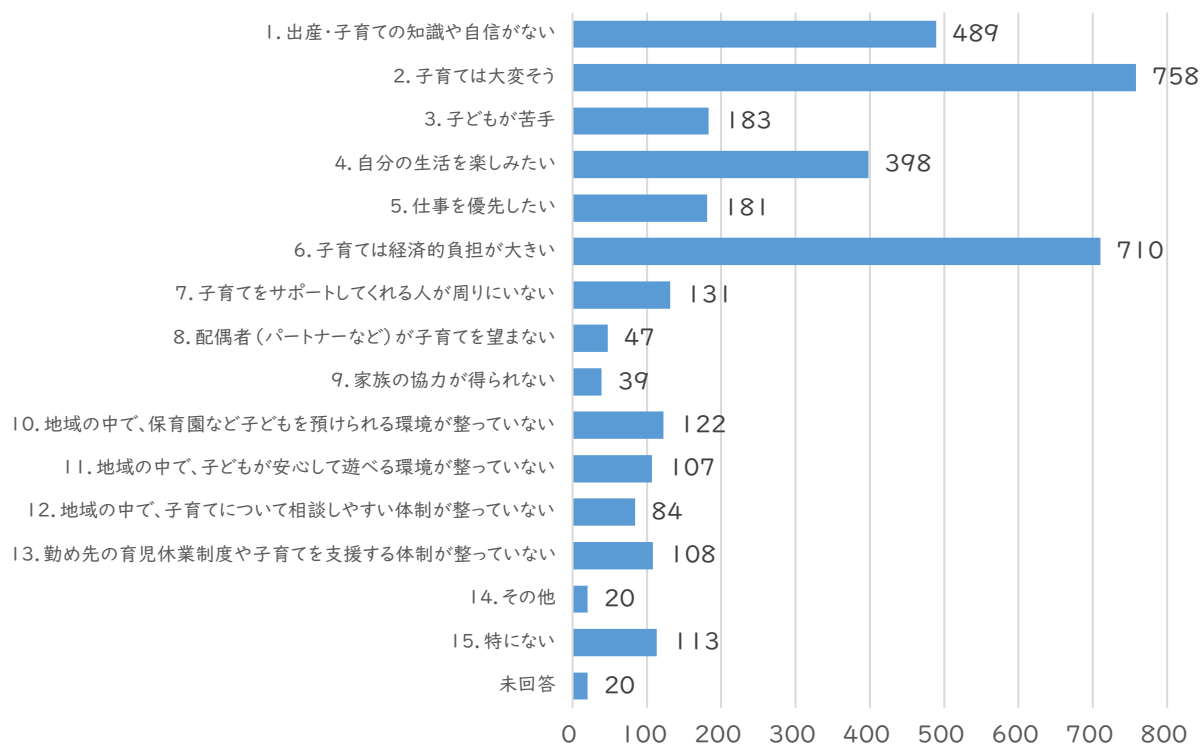


□ 1.1人 □ 2.2人 □ 3.3人 □ 4.4人 □ 5.5人以上 □ 6.0人 □ 7.わからない □ 未回答

問 17 子どもを持つことに対する不安・懸念

子どもを持つことに対する不安・懸念は、「子育ては大変そう」が52.6%と最も多く、次いで「子育ては経済的負担が大きい」が49.3%でした。

回答	回答数	回答	回答数
1. 出産・子育ての知識や自信がない	489	9. 家族の協力が得られない	39
2. 子育ては大変そう	758	10. 地域の中で、保育園など子どもを預けられる環境が整っていない	122
3. 子どもが苦手	183	11. 地域の中で、子どもが安心して遊べる環境が整っていない	107
4. 自分の生活を楽しみたい	398	12. 地域の中で、子育てについて相談しやすい体制が整っていない	84
5. 仕事を優先したい	181	13. 勤め先の育児休業制度や子育てを支援する体制が整っていない	108
6. 子育ては経済的負担が大きい	710	14. その他	20
7. 子育てをサポートしてくれる人が周りにいない	131	15. 特にない	113
8. 配偶者（パートナーなど）が子育てを望まない	47	未回答	20



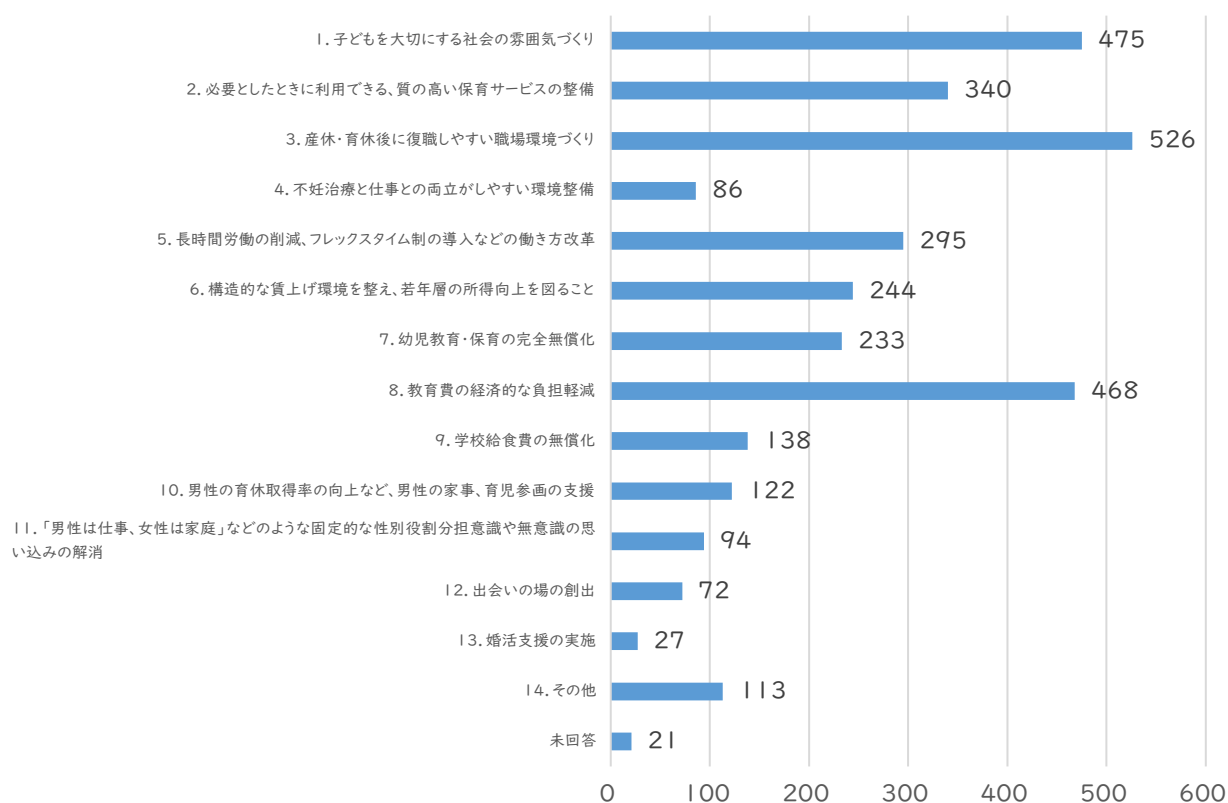
【その他の記述内容】

- ・金銭面。
- ・出産が不安。
- ・子どもを育てる自信がない。

問 18 少子化対策として効果のある取り組み

少子化対策として効果のある取り組みは、「産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり」が 36.5%と最も多く、次いで「子どもを大切にできる社会の雰囲気づくり」が 33.0%でした。

回答	回答数	回答	回答数
1. 子どもを大切にできる社会の雰囲気づくり	475	9. 学校給食費の無償化	138
2. 必要としたときに利用できる、質の高い保育サービスの整備	340	10. 男性の育休取得率の向上など、男性の家事、育児参画の支援	122
3. 産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり	526	11. 「男性は仕事、女性は家庭」などのような固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消	94
4. 不妊治療と仕事との両立がしやすい環境整備	86	12. 出会いの場の創出	72
5. 長時間労働の削減、フレックスタイム制の導入などの働き方改革	295	13. 婚活支援の実施	27
6. 構造的な賃上げ環境を整え、若年層の所得向上を図ること	244	14. その他	113
7. 幼児教育・保育の完全無償化	233	未回答	21
8. 教育費の経済的な負担軽減	468		



【その他の記述内容】

- ・子育てをするメリットを増やす。
- ・公園などの遊び場を増やす。

6. その他

問 19 自分の将来に期待すること、不安を感じること

期待すること

- ・希望する職業につき、スキルアップする。
- ・仕事をしながら子育てしたい。
- ・将来的に賃上げしてほしい。

不安を感じること

- ・安定した職業、希望する職業につくことができるか。
- ・就職してから社会人として生活していけるか。
- ・結婚することができるか。
- ・子育てをすることができるか。
- ・経済的な不安（収入・子育てに係る費用・老後の年金）。
- ・自分がやりたいことが見つからない。
- ・自分の将来計画が社会情勢でたてられない。

問 20 「習志野市のまちづくり」に期待すること、不満があること

期待すること

- ・子どもが暮らしたい、暮らしてよかったと思うまちづくり。
- ・景観や施設が豊かであること。
- ・地域とのつながりがある場所づくり。
- ・JR 津田沼駅や新習志野駅、京成大久保駅等の駅周辺開発。
- ・子育て・教育への経済的支援。高齢者だけでなく、若い人への支援。

不満があること

- ・道路、歩道が狭い。
- ・道路のアクセスが悪い、バスの本数が少ない、鉄道の乗り換え等が不便。
- ・喫煙所が少ない。歩きたばこしている人が多い。
- ・高校生・大学生～40くらいまでの人が使う施設が少ない。
- ・新たに住みたいと思わせるものがない。

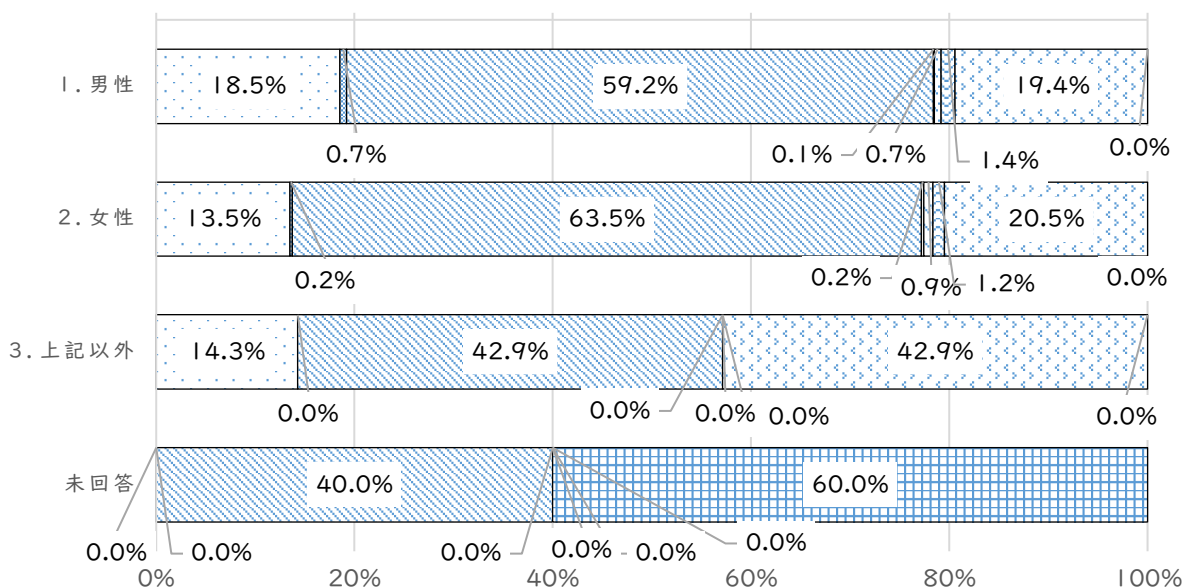
第3章 調査結果の分析(クロス集計)

問1 性別×問4 大学卒業後の進路

大学卒業後の進路について、男性・女性共に習志野市外で就職予定・希望が最も多く6割程度を占めていました。一方で、男性・女性共に卒業後の進路予定・希望が分からない(決まっていない)人が2割程度でした。

設問項目	1. 進学・留学		2. 習志野市内で就職		3. 習志野市外で就職		4. 習志野市内で創業(既に創業済みの場合を含む)		5. 習志野市外で創業(既に創業済みの場合を含む)	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	185	18.5%	7	0.7%	591	59.2%	1	0.1%	7	0.7%
2. 女性	58	13.5%	1	0.2%	273	63.5%	1	0.2%	4	0.9%
3. 上記以外	1	14.3%	0	0.0%	3	42.9%	0	0.0%	0	0.0%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%

設問項目	6. その他		7. わからない		未回答		総計	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	14	1.4%	194	19.4%	0	0.0%	999	100.0%
2. 女性	5	1.2%	88	20.5%	0	0.0%	430	100.0%
3. 上記以外	0	0.0%	3	42.9%	0	0.0%	7	100.0%
未回答	0	0	0	0	3	0.6	5	100.0%

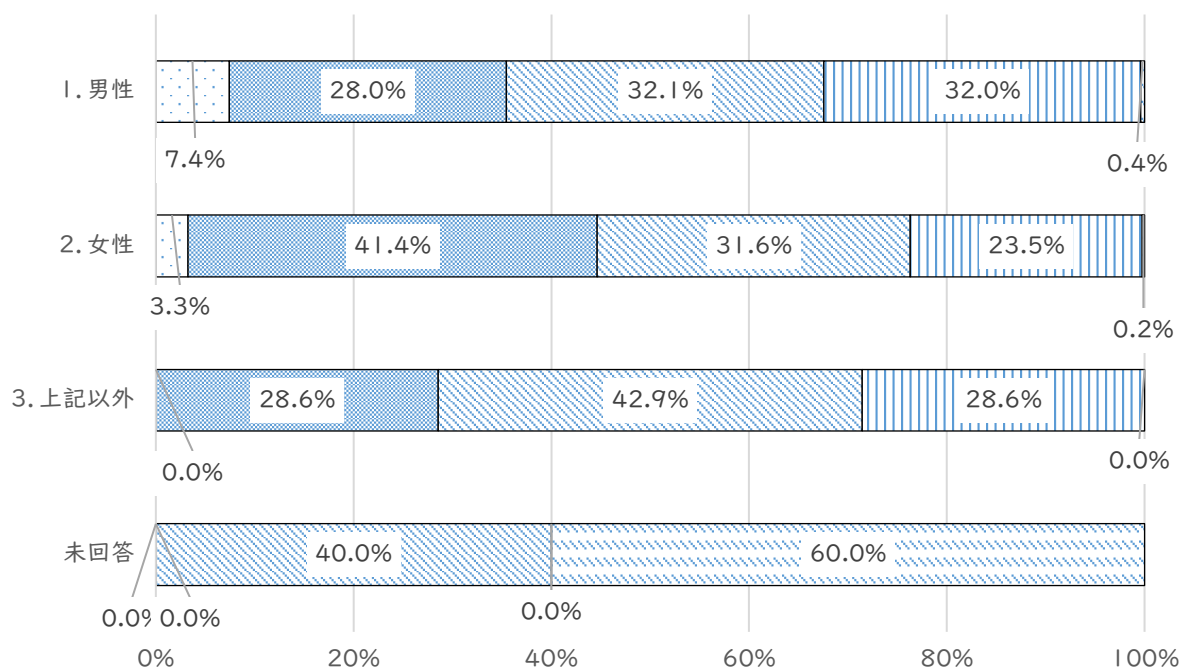


- 1. 進学・留学
- 2. 習志野市内で就職
- 3. 習志野市外で就職
- 4. 習志野市内で創業(既に創業済みの場合を含む)
- 5. 習志野市外で創業(既に創業済みの場合を含む)
- 6. その他
- 7. わからない
- 未回答

問 1 性別×問 5 卒業後のお住まい

卒業後のお住まいについて、男性は「東京都」「千葉県・東京都以外」が多く、女性は「習志野市外の千葉県内」が多くなっていました。「習志野市内」を回答した人は、男性・女性共に最も少なくなっていました。

設問 項目	1. 習志野市内		2. 習志野市外の 千葉県内		3. 東京都		4. 千葉県・東京 都以外		未回答		総計	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	74	7.4%	280	28.0%	321	32.1%	320	32.0%	4	0.4%	999	100.0%
2. 女性	14	3.3%	178	41.4%	136	31.6%	101	23.5%	1	0.2%	430	100.0%
3. 上記以外	0	0.0%	2	28.6%	3	42.9%	2	28.6%	0	0.0%	7	100.0%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%

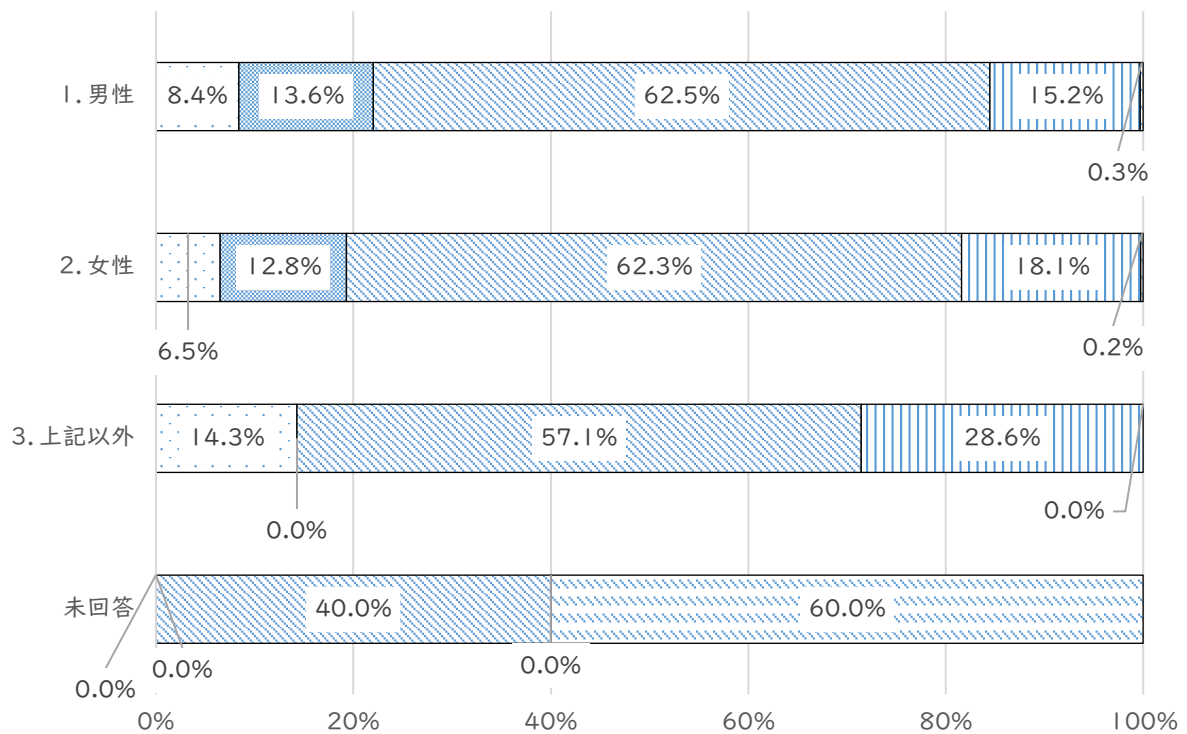


□ 1. 習志野市内 ■ 2. 習志野市外の千葉県内 □ 3. 東京都 □ 4. 千葉県・東京都以外 □ 未回答

問 1 性別×問 6 習志野市に住みたいと思うか

習志野市に住みたいと思うかについて、男性・女性共に「他の地域に住みたい」が6割以上を占めていました。

設問 項目	1. ずっと住み続けたい		2. いずれは習志野市に住みたい		3. 他の地域に住みたい(具体的に)		4. その他		未回答		総計	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	84	8.4%	136	13.6%	624	62.5%	152	15.2%	3	0.3%	999	100.0%
2. 女性	28	6.5%	55	12.8%	268	62.3%	78	18.1%	1	0.2%	430	100.0%
3. 上記以外	1	14.3%	0	0.0%	4	57.1%	2	28.6%	0	0.0%	7	100.0%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%



□ 1. ずっと住み続けたい ■ 2. いずれは習志野市に住みたい ▨ 3. 他の地域に住みたい ▩ 4. その他 □ 未回答

問 1 性別×問 10 活気を生み出し、若い世代の移住・定住を促進する取り組み

活気を生み出し、若い世代の移住・定住を促進する取り組みについては、男性・女性共に「駅周辺地域の活性化」が最も多く回答されました。男性では「道路等交通インフラの整備・改善」、「徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上」、「観光スポットの整備」、「地元大学等の活性化と協働によるまちづくりの推進」の順に多く回答されました。女性では「徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上」、「道路等交通インフラの整備・改善」、「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」、「魅力ある公園・緑地づくり」の順に多く回答されました。

設問項目	1. 地元大学等の活性化と協働によるまちづくり(地域とのふれあい)の推進	2. 多世代が交流できる拠点づくり・活性化と既存公共施設の再生	3. 駅周辺地域の活性化(ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど)	4. 徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上(コンビニ・スーパー・ドラッグストア等)	5. 魅力ある公園・緑地づくり	6. 道路等交通インフラの整備・改善	7. 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
1. 男性	249	158	558	285	217	367	199
2. 女性	82	58	287	158	100	156	122
3. 上記以外	2	1	3	3	1	2	1
未回答	1	0	2	0	0	0	1

設問項目	8. 教育環境の再整備の推進及び質の高い公教育の充実	9. ワーク・ライフ・バランスの推進	10. 就業の促進、人材育成、雇用対策	11. 創業(起業)支援の強化と新たな産業の創出	12. 企業活動・地域産業の活性化	13. 企業の誘致	14. 超高齢社会への対応
1. 男性	127	191	155	75	139	151	102
2. 女性	60	85	60	19	45	34	40
3. 上記以外	1	2	1	1	1	1	2
未回答	0	0	0	0	0	0	0

設問項目	15. 行政サービスの利便性向上(ICT対応等)	16. 交流人口の増加の推進	17. 周辺及び広域における他自治体との連携の形成	18. 観光スポットの整備	19. その他	未回答
1. 男性	110	90	58	254	19	10
2. 女性	30	35	24	87	5	2
3. 上記以外	2	1	1	1	0	0
未回答	0	0	0	0	0	1

男女別回答順位

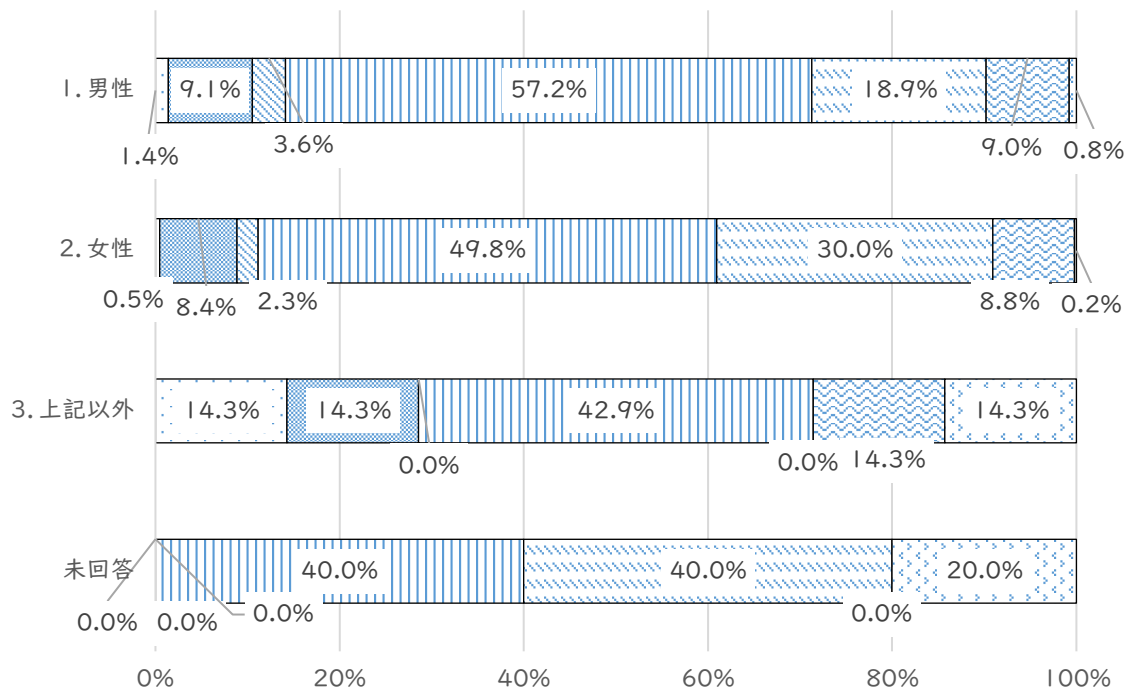
男性	駅周辺地域の活性化(ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど)	道路等交通インフラの整備・改善	徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上(コンビニ・スーパー・ドラッグストア等)	観光スポットの整備	地元大学等の活性化と協働によるまちづくり(地域とのふれあい)の推進
女性	駅周辺地域の活性化(ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど)	徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上(コンビニ・スーパー・ドラッグストア等)	道路等交通インフラの整備・改善	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	魅力ある公園・緑地づくり

問 1 性別×問 12 結婚に関する考え方

結婚に関する考え方について、男性・女性共に 9 割以上が結婚の意向があると回答しました。男性と女性の回答で大きな差があったのは、男性の方が「いずれ結婚するつもり」が 7.4p 高く、女性の方が「年齢にかかわらず理想的な相手と結ばれるまでは結婚したくない」が 11.1p 高く回答しました。

設問項目	1. 既に結婚している		2. できるだけ早く結婚したい		3. 2～3年以内には結婚したい		4. いずれ結婚するつもり	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	14	1.4%	91	9.1%	36	3.6%	571	57.2%
2. 女性	2	0.5%	36	8.4%	10	2.3%	214	49.8%
3. 上記以外	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	3	42.9%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%

設問項目	5. 年齢にかかわらず理想的な相手と結ばれるまでは結婚したくない		6. 一生結婚するつもりはない		未回答		総計	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	189	18.9%	90	9.0%	8	0.8%	999	100.0%
2. 女性	129	30.0%	38	8.8%	1	0.2%	430	100.0%
3. 上記以外	0	0.0%	1	14.3%	1	14.3%	7	100.0%
未回答	2	40.0%	0	0.0%	1	20.0%	5	100.0%



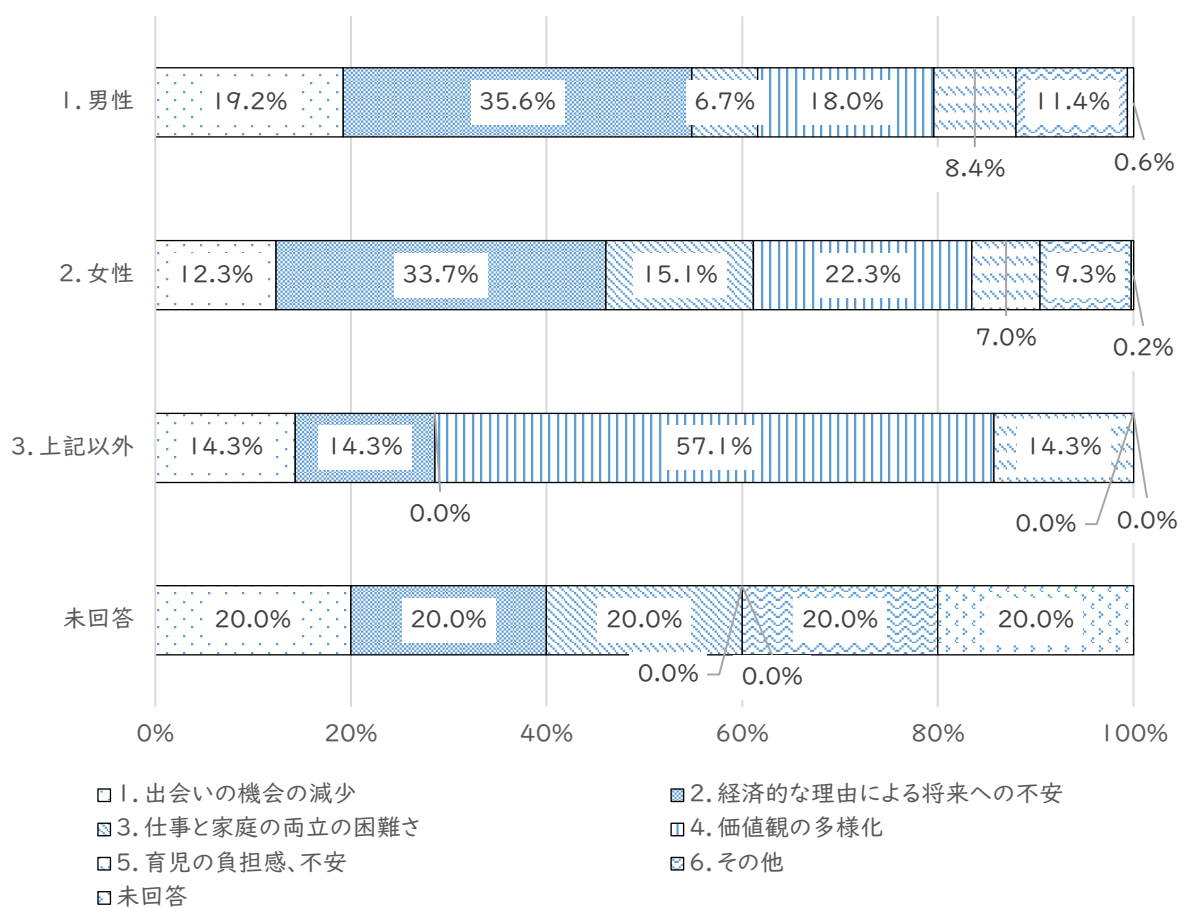
- 1. 既に結婚している
- 2. できるだけ早く結婚したい
- 3. 2～3年以内には結婚したい
- 4. いずれ結婚するつもり
- 5. 年齢にかかわらず理想的な相手と結ばれるまでは結婚したくない
- 6. 一生結婚するつもりはない
- 未回答

問Ⅰ 性別×問Ⅰ4 未婚化の進展の理由

未婚化の進展の理由について、男性・女性共に「経済的な理由による将来の不安」が最も多く回答しました。次いで、男性は「出会いの機会の減少」、女性は「価値観の多様化」が多く回答されました。男性と女性の回答で大きな差があったのが、男性の方が「出会いの機会の減少」を6.9p高く、女性の方が「仕事と家庭の両立の困難さ」を8.4p高く回答しました。

設問項目	1. 出会いの機会の減少		2. 経済的な理由による将来への不安		3. 仕事と家庭の両立の困難さ		4. 価値観の多様化	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	192	19.2%	356	35.6%	67	6.7%	180	18.0%
2. 女性	53	12.3%	145	33.7%	65	15.1%	96	22.3%
3. 上記以外	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	4	57.1%
未回答	1	20.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%

設問項目	5. 育児の負担感、不安		6. その他		未回答		総計	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	84	8.4%	114	11.4%	6	0.6%	999	100.0%
2. 女性	30	7.0%	40	9.3%	1	0.2%	430	100.0%
3. 上記以外	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
未回答	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	5	100.0%

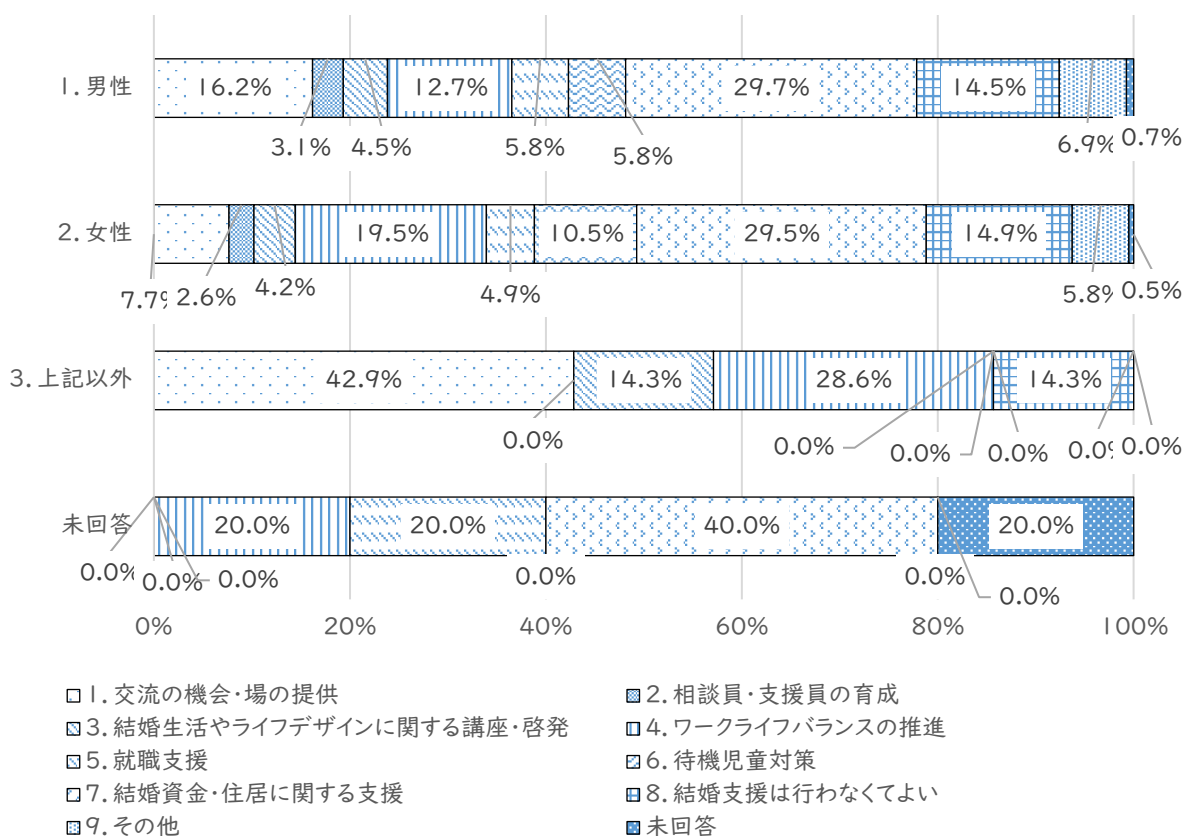


問 1 性別×問 15 市に期待する結婚支援の取組

市に期待する結婚支援の取組について、男性・女性共に「結婚資金・住居に関する支援」が約 3 割で最も多く回答しました。次いで、男性が「交流の機会・場の提供」、女性が「ワークライフバランスの推進」を多く回答しました。一方で、男性・女性共に約 15%が「結婚支援は行わなくてよい」と回答しました。男性と女性の回答で大きな差があったのが、男性の方が「交流の機会・場の提供」を 8.5p 高く、女性の方が「ワークライフバランスの推進」を 6.8p 高く回答しました。

設問項目	1. 交流の機会・場の提供		2. 相談員・支援員の育成		3. 結婚生活やライフデザインに関する講座・啓発		4. ワークライフバランスの推進		5. 就職支援		6. 待機児童対策	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	162	16.2%	31	3.1%	45	4.5%	127	12.7%	58	5.8%	58	5.8%
2. 女性	33	7.7%	11	2.6%	18	4.2%	84	19.5%	21	4.9%	45	10.5%
3. 上記以外	3	42.9%	0	0.0%	1	14.3%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%

設問項目	7. 結婚資金・住居に関する支援		8. 結婚支援は行わなくてよい		9. その他		未回答		総計	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	297	29.7%	145	14.5%	69	6.9%	7	0.7%	999	100.0%
2. 女性	127	29.5%	64	14.9%	25	5.8%	2	0.5%	430	100.0%
3. 上記以外	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
未回答	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	5	100.0%

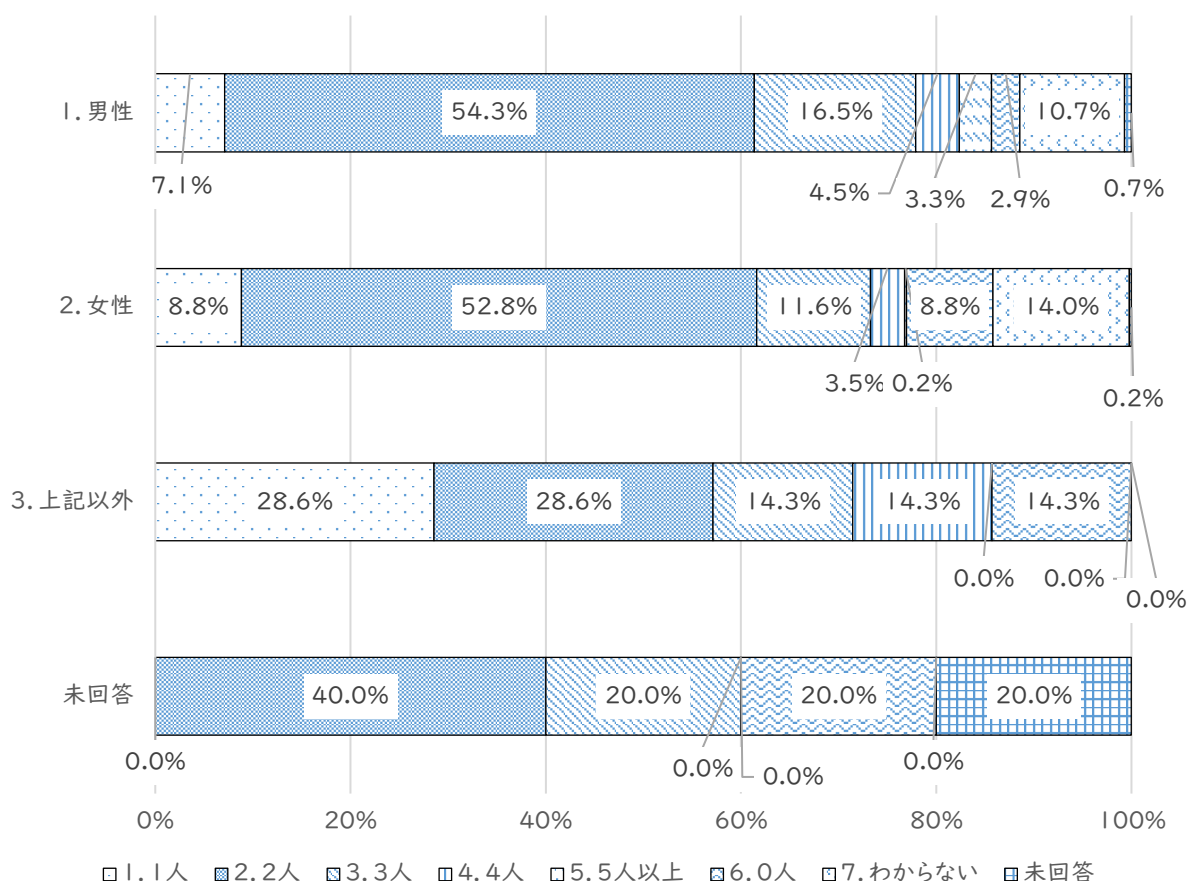


問 1 性別×問 16 理想のこどもの人数

理想のこどもの人数について、男性・女性共に「2人」が5割以上を占める回答をしました。男性と女性を比較すると、男性の方が理想のこどもの人数が多く、女性の方が「0人」と回答した人が5.9p高く回答しました。また、理想の子供の数の平均（「5人以上」は5人として計算した場合）、男性では約2.00人、女性では約1.64人でした。（人口置換水準は2.07人）

設問 項目	1人		2人		3人		4人		5人以上	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	71	7.1%	542	54.3%	165	16.5%	45	4.5%	33	3.3%
2. 女性	38	8.8%	227	52.8%	50	11.6%	15	3.5%	1	0.2%
3. 上記以外	2	28.6%	2	28.6%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%
未回答	0	0.0%	2	40.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%

設問 項目	0人		わからない		未回答		総計	
	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比	回答	構成比
1. 男性	29	2.9%	107	10.7%	7	0.7%	999	100.0%
2. 女性	38	8.8%	60	14.0%	1	0.2%	430	100.0%
3. 上記以外	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
未回答	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	5	100.0%



問 1 性別×問 17 子どもを持つことに対する不安・懸念

子どもを持つことに対する不安・懸念について、男性・女性共に「子育ては大変そう」、「子育ては経済的負担が大きい」、「出産・子育ての知識や自信がない」、「自分の生活を楽しみたい」の順に多く回答しました。

設問項目	1. 出産・子育ての知識や自信がない	2. 子育ては大変そう	3. 子どもが苦手	4. 自分の生活を楽しみたい	5. 仕事を優先したい	6. 子育ては経済的負担が大きい
1. 男性	326	487	98	247	91	484
2. 女性	162	264	83	148	89	223
3. 上記以外	0	4	2	1	1	2
未回答	1	3	0	2	0	1

設問項目	7. 子育てをサポートしてくれる人が周りにいない	8. 配偶者（パートナーなど）が子育てを望まない	9. 家族の協力が得られない	10. 地域の中で、保育園など子どもを預けられる環境が整っていない	11. 地域の中で、子どもが安心して遊べる環境が整っていない
1. 男性	77	33	26	69	70
2. 女性	53	14	13	52	35
3. 上記以外	1	0	0	0	1
未回答	0	0	0	1	1

設問項目	12. 地域の中で、子育てについて相談しやすい体制が整っていない	13. 勤め先の育児休業制度や子育てを支援する体制が整っていない	14. その他	15. 特になし	未回答
1. 男性	47	65	14	85	13
2. 女性	35	43	6	26	6
3. 上記以外	1	0	0	2	0
未回答	1	0	0	0	1

問 1 性別×問 18 少子化対策として効果のある取り組み

少子化対策として効果のある取り組みについて、男性は「子どもを大切にする社会の雰囲気づくり」、「教育費の経済的な負担軽減」、「産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり」の順に多く回答しました。女性は「産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり」、「教育費の経済的な負担軽減」、「子どもを大切にする社会の雰囲気づくり」の順に多く回答しました。

設問項目	1. 子どもを大切にする社会の雰囲気づくり	2. 必要としたときに利用できる、質の高い保育サービスの整備	3. 産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり	4. 不妊治療と仕事との両立がしやすい環境整備	5. 長時間労働の削減、フレックスタイム制の導入などの働き方改革
1. 男性	336	210	317	51	213
2. 女性	136	127	207	34	80
3. 上記以外	2	2	1	1	1
未回答	1	1	1	0	1

設問項目	6. 構造的な賃上げ環境を整え、若年層の所得向上を図ること	7. 幼児教育・保育の完全無償化	8. 教育費の経済的な負担軽減	9. 学校給食費の無償化	10. 男性の育休取得率の向上など、男性の家事、育児参画の支援
1. 男性	169	172	328	110	68
2. 女性	71	61	138	28	53
3. 上記以外	2	0	1	0	1
未回答	2	0	1	0	0

設問項目	11. 「男性は仕事、女性は家庭」などのような固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消	12. 出会いの場の創出	13. 婚活支援の実施	14. その他	未回答
1. 男性	52	60	21	88	17
2. 女性	42	10	5	24	3
3. 上記以外	0	2	1	1	0
未回答	0	0	0	0	1

男性	子どもを大切にする社会の雰囲気づくり	教育費の経済的な負担軽減	産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり	長時間労働の削減、フレックスタイム制の導入などの働き方改革	必要としたときに利用できる、質の高い保育サービスの整備
女性	産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり	教育費の経済的な負担軽減	子どもを大切にする社会の雰囲気づくり	必要としたときに利用できる、質の高い保育サービスの整備	長時間労働の削減、フレックスタイム制の導入などの働き方改革

大学生意識調査 ～ご協力をお願い～

習志野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成26年に策定した基本構想において、「未来のために～みんながやさしさがつながるまち～習志野」を目指すべき都市の姿として定め、豊かで安全・安心な生活環境を継承し、新たに住んでみたいまち、将来にわたり住み続けたいまちを目指し、まちづくりを推進しています。

本調査は、令和7年度に現在の基本構想の計画期間が満了することに伴い、令和8年度を始期とする、次期基本構想の策定を行うための基礎資料とすることを目的に、市内に立地または接している大学に在籍されている学生の皆様の意向や意見をお伺いするものです。

お忙しい中、多くの設問があり恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6(2024)年9月

習志野市長 宮本泰介

この調査は、市内立地・隣接3大学（千葉工業大学、日本大学生産工学部、東邦大学（習志野キャンパス））の学生の皆様にご協力をお願いするものです。

回答は無記名です。お名前などを書かれたとしても調査に一切反映しません。

また、ご協力いただいた皆様にご心配をおかけすることは一切ありません。

回答期限：令和6年10月15日（火曜日）

回答方法：WEB 若しくは本調査票に記入いただき、回収ボックスにご投函ください。

※調査票配布時に指示があった場合は、指示に従いご提出ください。

WEB：[URL https://apply.e-tumo.jp/city-narashino-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=35282](https://apply.e-tumo.jp/city-narashino-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=35282)

問合せ：習志野市 政策経営部 総合政策課

電話 047-453-9222（直通）

FAX 047-453-9313



WEB 回答用二次元バーコード

1. 基本属性・居住地等について（全3問）

問1 性別を教えてください。（1つだけ番号を○で囲んでください。）

1. 男性	2. 女性	3. 左記以外
-------	-------	---------

問2 学年を教えてください。（1つだけ番号を○で囲んでください。）

1. 1年生	3. 3年生	5. 大学院生
2. 2年生	4. 4年生	6. その他（ ）

問3 お住まいの地域を教えてください。（1つだけ番号を○で囲んでください。）

1. 習志野市内	2. 習志野市外の千葉県内	3. 東京都	4. 千葉県・東京都以外
----------	---------------	--------	--------------

2. 大学卒業後の進路について（全2問）

問4 大学卒業後の進路（予定若しくは希望）を教えてください。（1つだけ番号を○で囲んでください。）

1. 進学・留学	5. 習志野市外で創業（既に創業済みの場合を含む）
2. 習志野市内で就職	6. その他（ ）
3. 習志野市外で就職	7. わからない
4. 習志野市内で創業（既に創業済みの場合を含む）	

問4-1 ※問4で「3」「5」を選ばれた方のみご回答ください。

その理由を教えてください。（該当するすべての番号を○で囲んでください。）

1. 市内に働きたい企業（会社）がない	6. 娯楽が少ない
2. 市内の企業を知らない	7. 居住地から遠い
3. 市外で暮らしたい	8. 地元で就職・創業したい
4. 賃金が低い	9. 特に理由はない
5. 立地環境が悪い	10. その他（ ）

問5 大学卒業後のお住まいの地域（予定若しくは希望）を教えてください。

（1つだけ番号を○で囲んでください。）

1. 習志野市内	2. 習志野市外の千葉県内	3. 東京都	4. 千葉県・東京都以外
----------	---------------	--------	--------------

3. 習志野市について（全5問）

問6 習志野市に住みたい、住み続けたいと思いますか。（1つだけ番号を○で囲んで下さい。）	
1. ずっと住み続けたい	3. 他の地域に住みたい(具体的に:)
2. いずれは習志野市に住みたい	4. その他 ()

問6-1 ※問6で、「1」「2」を選ばれた方のみ、ご回答ください。 その理由を教えてください。（3つまでの番号を○で囲んでください。）		
1. 買い物などの日常生活が便利	5. 友人知人が多い・人的つながりがある	9. 生まれ育った地元である
2. 交通が便利	6. 緑が多く生活環境が良い	10. その他 ()
3. 魅力あるイベントや遊ぶ場がある	7. 市周辺に希望する就職先がある	
4. まちに魅力や活気がある	8. 家賃が適当である	

問6-2 ※問6で、「3」を選ばれた方のみ、ご回答ください。 その理由を教えてください。（3つまでの番号を○で囲んでください。）		
1. 買い物などの日常生活が不便	5. 友人知人が少ない・人的つながりがない	9. 地元に帰りたい
2. 交通が不便	6. 緑が少なく生活環境が良くない	10. その他 ()
3. 魅力あるイベントや遊ぶ場が少ない	7. 市周辺に希望する就職先がない	
4. まちに魅力や活気がない	8. 家賃が高い	

問7 あなたが住みたいと思う理想的な街（地域）のイメージとして当てはまるものを教えてください。 （すべての項目に1つだけ番号を○で囲んでください。）					
項目	とても重視する	やや重視する	どちらでもない	あまり重視しない	全く重視しない
自然が豊か	5	4	3	2	1
交通の便がよい	5	4	3	2	1
居住環境がよい	5	4	3	2	1
大型商業施設が充実している	5	4	3	2	1
商店街が活気に満ちている	5	4	3	2	1
娯楽・レジャーが充実している	5	4	3	2	1
子育て環境が充実している	5	4	3	2	1
教育環境が充実している	5	4	3	2	1
防災・防犯対策が充実している	5	4	3	2	1
福祉・医療サービスが充実している	5	4	3	2	1
公共施設が充実している	5	4	3	2	1
スポーツが盛んである	5	4	3	2	1
文化・芸術活動が盛んである	5	4	3	2	1
その他 ()					

問 8 あなたの習志野市に対するイメージとして当てはまるものを教えてください。
(すべての項目に1つだけ番号を○で囲んでください。)

項目	そう思う	どちらかという そう思う	どちらでもない	どちらかという そう思わない	そう思わない
自然が豊か	5	4	3	2	1
交通の便がよい	5	4	3	2	1
居住環境がよい	5	4	3	2	1
大型商業施設が充実している	5	4	3	2	1
商店街が活気に満ちている	5	4	3	2	1
娯楽・レジャーが充実している	5	4	3	2	1
子育て環境が充実している	5	4	3	2	1
教育環境が充実している	5	4	3	2	1
防災・防犯対策が充実している	5	4	3	2	1
福祉・医療サービスが充実している	5	4	3	2	1
公共施設が充実している	5	4	3	2	1
スポーツが盛んである	5	4	3	2	1
文化・芸術活動が盛んである	5	4	3	2	1
その他 ()					

問 9 大学へ通学する以外で習志野市との関りがありますか。(該当するすべての番号を○で囲んで下さい。)

1. 市内に住んでいる	5. 友人・知人に会うために習志野市を訪れる
2. アルバイトのために習志野市を訪れる	6. ボランティア活動のために習志野市を訪れる
3. 買い物のために習志野市を訪れる	7. その他 ()
4. 飲食のために習志野市を訪れる	8. 大学へ通学する以外で習志野市との関りはない

問 10 習志野市に活気を生み出し、若い世代の移住・定住を促進するためには何が必要であると考えますか。
(該当するすべての番号を○で囲んで下さい。)

1. 地元大学等の活性化と協働によるまちづくり(地域とのふれあい)の推進	13. 企業の誘致
2. 多世代が交流できる拠点づくり・活性化と既存公共施設の再生	14. 超高齢社会への対応
3. 駅周辺地域の活性化(ショッピング・娯楽施設・イベントスペース・カフェなど)	15. 行政サービスの利便性向上(ICT対応等)
4. 徒歩圏内の日用品購入等の利便性向上(コンビニ・スーパー・ドラッグストア等)	16. 交流人口の増加の推進
5. 魅力ある公園・緑地づくり	17. 周辺及び広域における他自治体との連携の形成
6. 道路等交通インフラの整備・改善	18. 観光スポットの整備
7. 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	19. その他 ()
8. 教育環境の再整備の推進及び質の高い公教育の充実	
9. ワーク・ライフ・バランスの推進	
10. 就業の促進、人材育成、雇用対策	
11. 創業(起業)支援の強化と新たな産業の創出	
12. 企業活動・地域産業の活性化	

4. ボランティア活動について（全1問）

問11 ボランティア活動について、どの分野に興味（または参加したこと）がありますか。 （3つまでの番号を○で囲んでください。）		
1. まちづくり・まちおこし 2. 自治会・町内会 3. 芸術・文化 4. スポーツ・健康づくり 5. 教育（学習支援など）	6. こども・青少年育成 7. 自然保護・環境保全 8. 福祉・医療 9. 国際交流 10. 災害支援・防災	11. 防犯・安全 12. その他（ ） 13. 興味・または参加したことはない

5. 結婚・子育てについて（全7問）

問12 あなたは現在、結婚についてどのように考えていますか。（1つだけ番号を○で囲んでください。）	
1. 既に結婚している 2. できるだけ早く結婚したい 3. 2～3年以内には結婚したい	4. いずれ結婚するつもり 5. 年齢にかかわらず理想的な相手と結ばれるまでは結婚したくない 6. 一生結婚するつもりはない

問13 あなたは結婚相手との出会いはどのようなものだと思いますか。既に結婚されている方はどのように出会いましたか。（該当するすべての番号を○で囲んで下さい。）	
1. 学校での出会い 2. 職場（アルバイト含む）での出会い 3. 幼馴染・隣人関係 4. 友人・知人からの紹介 5. 家族・親戚からの紹介 6. 共通の趣味の場での出会い	7. マッチングアプリでの出会い 8. 街コン、婚活パーティでの出会い 9. 結婚相談所の紹介 10. 自治体が主催するイベントでの出会い 11. お見合い 12. その他（ ）

問14 未婚化の進展は、どのような理由だと思いますか。（1つだけ番号を○で囲んでください。）	
1. 出会いの機会の減少 2. 経済的な理由による将来への不安 3. 仕事と家庭の両立の困難さ	4. 価値観の多様化 5. 育児の負担感、不安 6. その他（ ）

問15 市に期待する結婚支援の取組はありますか。（1つだけ番号を○で囲んでください。）	
1. 交流の機会・場の提供 2. 相談員・支援員の育成 3. 結婚生活やライフデザインに関する講座・啓発 4. ワークライフバランスの推進 5. 就職支援	6. 待機児童対策 7. 結婚資金・住居に関する支援 8. 結婚支援は行わなくてよい 9. その他（ ）

問16 理想の世帯のこどもの数を教えてください。（1つだけ番号を○で囲んで下さい。）			
1. 1人 2. 2人	3. 3人 4. 4人	5. 5人以上 6. 0人	7. わからない

問 17 子どもを持つことについて、不安もしくは懸念することは何ですか。

(該当するすべての番号を○で囲んで下さい。)

1. 出産・子育ての知識や自信がない	9. 家族の協力が得られない
2. 子育ては大変そう	10. 地域の中で、保育園など子どもを預けられる環境が整っていない
3. 子どもが苦手	11. 地域の中で、子どもが安心して遊べる環境が整っていない
4. 自分の生活を楽しみたい	12. 地域の中で、子育てについて相談しやすい体制が整っていない
5. 仕事を優先したい	13. 勤め先の育児休業制度や子育てを支援する体制が整っていない
6. 子育ては経済的負担が大きい	14. その他 ()
7. 子育てをサポートしてくれる人が周りにいない	15. 特になし
8. 配偶者(パートナーなど)が子育てを望まない	

問 18 少子化対策として効果があると思うことは何ですか。(3つまで番号を○で囲んでください。)

1. 子どもを大切にする社会の雰囲気づくり
2. 必要としたときに利用できる、質の高い保育サービスの整備
3. 産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり
4. 不妊治療と仕事との両立がしやすい環境整備
5. 長時間労働の削減、フレックスタイム制の導入などの働き方改革
6. 構造的な賃上げ環境を整え、若年層の所得向上を図ること
7. 幼児教育・保育の完全無償化
8. 教育費の経済的な負担軽減
9. 学校給食費の無償化
10. 男性の育休取得率の向上など、男性の家事、育児参画の支援
11. 「男性は仕事、女性は家庭」などのような固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消
12. 出会いの場の創出
13. 婚活支援の実施
14. その他 ()

6. その他（全2問）

問19 自分の将来に期待することや不安を感じることがあればお聞かせください。

問20 「習志野市のまちづくり」について、期待することや不満があればお聞かせください。

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。